



はちやま



題字：黒田 保先生

平成27年6月1日第51号

発行所
都立一商同窓会事務局

**創立100周年
記念募金スタート**



インタビュー **吉田正子さん** (57期) 東京海上日動火災執行役員

週刊エコノミスト(毎日新聞社発行) 6月15日発売(6月23日号)
「名門高校の校風と人脈」欄に母校一商が掲載されます。ぜひお読み下さい。

●一商同窓会の活動は皆様の年会費と賛助会費で運営されております。

● 都立一商同窓会 <http://www.isshou.jp/>

会長あいさつ 一商同窓会長 菊池 敏郎



昨年7月に渋谷の南平台町へ事務所が移って早や1年になります。5階の窓から母校体育館の屋根が見えて、何とも良い気分です。先輩の方々や同窓の方達にも大勢来て頂きました。これからもぜひ皆様に来て頂きたいと思えます。

今年3月3日(火)の卒業式の日には校門を入った処に白梅の花が咲くように植樹をして卒業生へのお祝いとしました。植樹を下さった同窓生の方に感謝いたします。前日の表彰式のあと各クラス代表2名、会計12名とその梅の木で記念撮影をしました。その方々が92期の理事であり、その内の男女各2名が92期の常任理事の方々です。皆様よろしくお願ひします。

母校の創立100周年が平成30年になります。昨年の総会で承認された「100周年記念募金会」が今年から皆様にお願ひのスタートとなります。一部役員や協力者には昨年のイベントニュースの時からお願ひをして既に300万円はご協力を頂いております。平成30年3月31日までの3年間で5万円以上のご協力の方のお名前を100周年記念誌に掲載し、石碑にも記名いたします。この金額はクラス会でもクラブ名でも団体名でも結構です。よろしくお願ひいたします。途中報告は、会報でお知らせいたします。

同窓会として一番大切なことは会報の内容をいかに良くするかであります。従来の12頁にこだわらなくて、増頁にしてみました。またカラー化にし、日本郵便との提携で送料も大巾削減となり全期に亘ってお届けすることが出来るようになりました。

今年からは広報委員長に筆頭副会長の石田謙司君(37期)をお願ひしましたので、ますます良いものになると期待しています。又、他の執行部役員も増員し、最適最強となり誠に有難いことと感謝しています。

100周年に向け皆様の益々のご協力を切にお願ひ申し上げます。

ご卒業おめでとう



同窓生より寄贈された梅の木の前で、菊池会長と石田副会長と新理事に選出された卒業生の方々



ロゴマークのコンセプト

おしゃれな代官山の街に馴染む校舎は一商の自慢のひとつです。そのアーチ状の屋根と円形の柱をモチーフにしました。グラデーションを効かせた五本のラインには、100年の歩みとさらなるステップを表現しています。(デザイン・杉浦麻子)

目次

| | |
|-------------------------|----|
| 会長あいさつ ● 菊池敏郎 | 2 |
| 母校一商NOW | 3 |
| (職員異動・卒業生進路状況・部活動) | 3 |
| 100周年記念事業予算・記念募金会会則 | 4 |
| 同期会・クラス会・クラブOB/OG会開催 | 5 |
| 著名人訪問(その2)吉田正子さん | 9 |
| 校章の由来の研究 ● 海口頼久 | 12 |
| 鉢山の想い出 ● 三好 徹 | 16 |
| 26年度イベント | 16 |
| 東京校歌祭 | 28 |
| 第4回一商同窓会ゴルフコンペ | 28 |
| (新企画)ぶらりウォーキング | 29 |
| 第2回ホームカミングデーと同期会 ● 浅野勝美 | 30 |
| 平成27年度事業計画と日程(案) | 32 |
| 一商同窓会平成27年度役員候補 | 32 |
| 奨学会理事・監事と100周年準備委員 | 32 |
| 奨学生だより | 33 |
| 平成26年度都立一商同窓会会計報告(案) | 34 |
| 平成26年度都立一商奨学会会計報告 | 34 |
| 平成27年度都立一商同窓会収支予算(案) | 35 |
| 平成27年度都立一商奨学会収支予算 | 35 |
| 平成26年度賛助会費および年会費報告 | 37 |
| 同窓会年会費納入状況 | 39 |
| 平成26年度100周年記念募金入金報告 | 40 |
| 鉢山クラブ通信 | 41 |
| 同窓会会則改正議案 | 42 |
| 伝・言・板 | 46 |
| 我が社を語る(第一回) ● 小杉左岐 | 47 |
| 編集室から | 47 |
| 平成27年度イベント案内 | 48 |
| 平成27年度定期総会のご案内 | 48 |

●一商同窓会の活動は皆様の年会費と賛助会費で運営されております。

● 都立一商同窓会 <http://www.issou.jp/>

母校一商



職員異動

〈教科等〉

〈氏名〉

〈転出先〉

| 平成27年度 転入 | 平成26年度 転出 |
|--|---|
| 地歴・公民 理科 保健体育 英語 英語 商業 商業 経営企画室長 担当係長(司書) | 地歴・公民 理科 保険体育 英語 英語 商業 商業 経営企画室長 担当係長(司書) |
| 仁井田 梢 加藤 来夏 糸川 勇 草間 浩史 窪田 健一 荻久保倫子 太田 充幸 幸田 佳代 椎名 豊 近藤 裕子 | 伊部 文典 秋元 智志 徳田 親信 清水 理美 渡辺 愛子 山内 浩一 吉川 明美 小杉 聖子 飯野 稔 |
| 大島高校 新規採用 六本木高校(定時制) 大森高校 新規採用 江東商業高校 大泉校高校 世田谷総合高校 小川高校 | 山崎高校 八丈高校 片倉高校 橘高校(定時制) 新宿山吹高校(定時制) 八王子拓真高校(定時制) 第三商業高校 桜町高校 神代高校 |

〈教科等〉

〈氏名〉

〈前任校〉

| 平成27年度 転入 | 平成26年度 転出 |
|--|---|
| 地歴・公民 理科 保健体育 英語 英語 商業 商業 経営企画室長 担当係長(司書) | 地歴・公民 理科 保険体育 英語 英語 商業 商業 経営企画室長 担当係長(司書) |
| 仁井田 梢 加藤 来夏 糸川 勇 草間 浩史 窪田 健一 荻久保倫子 太田 充幸 幸田 佳代 椎名 豊 近藤 裕子 | 伊部 文典 秋元 智志 徳田 親信 清水 理美 渡辺 愛子 山内 浩一 吉川 明美 小杉 聖子 飯野 稔 |
| 大島高校 新規採用 六本木高校(定時制) 大森高校 新規採用 江東商業高校 大泉校高校 世田谷総合高校 小川高校 | 山崎高校 八丈高校 片倉高校 橘高校(定時制) 新宿山吹高校(定時制) 八王子拓真高校(定時制) 第三商業高校 桜町高校 神代高校 |

平成26年度

卒業生進路状況内訳

| | 男子 | 女子 | 合計 |
|------------|----|-----|-----|
| 就職 *1 民間企業 | 18 | 49 | 67 |
| 公務員 | 1 | | 1 |
| 計 | 19 | 49 | 68 |
| 進学 *2 大学 | 25 | 23 | 48 |
| *3 短期大学 | 1 | 8 | 9 |
| *4 専門学校 | 20 | 27 | 47 |
| 看護学校 | | 3 | 3 |
| 計 | 46 | 61 | 107 |
| 進学準備・その他 | 4 | 9 | 13 |
| 総計 | 69 | 119 | 188 |

- *1 関電工、住機、世田谷信用組合、セブンイレブン・ジャパン、大日本印刷、大日本化成工業、東洋水産、東洋エンジニアリング、明治神宮、三越伊勢丹、日本郵便、虎屋、福砂屋、YKKなど
- *2 青山学院大学、國學院大學、駒澤大学、専修大学、中央大学、東京経済大学、獨協大学、東洋大学、日本大学、明治大学など
- *3 亜細亜、国際、帝京、戸板女子など
- *4 大原簿記、新宿調理、中央動物、東京法律、日本外国語、日本ホテルスクールなど

部活動活動実績(運動部)

- バトミントン部 H26渋谷区シングルス選手権 女子2部 準優勝・3位
- 野球部 夏季大会、秋季大会(新人戦)、春季大会
- 男子バスケットボール部 H26関東大会予選2回戦出場、全国大会予選2回戦出場、商校連大会3位
- サッカー部 H26高校総体中支部予選出場、全国高校サッカー選手権出場 東京都大会1次予選4回出場
- ダンス部 H26ホームカミングデー H26一商祭総合2位
- ソフトボール部 H26高体連秋季大会ベスト8、第41回城北地区大会3位、第8回さくらカップ3位、公立大会、公立新人戦、高体連新人戦、稲葉杯、他
- ソフトテニス部 地南地区大会ベスト8、商業大会準優勝
- バトン部 歓迎会、スポーツ大会、歓送会発表
- 女子バスケットボール部 H26夏季大会グループリーグ2位、他
- 女子バレーボール部 春季大会、関東大会予選、夏季大会、新人戦、商高連大会、都立高大大会
- 硬式テニス部 商高連大会(シングルス、ダブルス)、商高連大会(団体戦)、新人戦男子シングルス2回戦
- ラクロス部 H26オートタムカップ 2部リーグ プロック出場
- 水泳部 H26渋谷区民水泳大会 50m自由形 個人3位、毎年上位入賞者多数 東京都高等学校新人大会、東京都高等学校短水路記録会他
- ブレイクダンス部 歓迎会パフォーマンズ、基礎練習、個別・グループ練習
- 剣道同好会 H26年度同好会として発足、基礎打ち、打ち込み、試合練習など
- 卓球部 東京都国公立卓球大会出場

部活動活動実績(文化部)

- 家庭科部 お菓子作り、軽食作り、東京製菓専門学校体験学習
- 軽音楽部 全国高等学校「軽音フェスティバルin大阪城」大阪府知事賞「TEENS ROCK IN HITACHINAKA」全国大会出場、全国高等学校軽音楽コンテスト奨励賞など
- イラスト創作芸部 定期的に作品集(部誌)発行
- ESS部 STEP英語検定2級・準2級取得、全商英語検定1級・2級取得、全商スピーチコンテスト 都大会3位
- 茶道部 全国高等学校文化連盟 冬の茶会(東京国立博物館のお茶室にて、お点前披露)、一商お点前披露
- 華道部 古流師範免許取得
- 簿記部 第30回全国高等学校簿記コンクール東京大会 団体の部優勝(全国大会出場)、第9回江戸川大学簿記コンクール 団体の部優勝
- 珠算・電卓部 H26全国高等学校珠算・電卓競技大会(全国大会) 読上算3等、読上暗算3等、H26東京都高等学校珠算競技大会 団体珠算の部3等、団体電卓の部3等、個人の部総合競技2等、暗算2等・3等、読上算1等、H26中央大学主催珠算競技大会 英語読み上げ算3等
- パソコン部 全東京ワープロ競技大会、全国商業高等学校協会主催ワープロ競技大会、全商ビジネス文書実務検定、全東京ワープロ競技大会
- 写真部 全国高等学校文化連盟大会出場、渋谷大好き写真コンクール入賞
- 吹奏楽部 H26アンサンブルコンテスト銅賞
- 国際交流ボランティア部 エコキヤップ運動、あしなが学生募金、MIFA国際交流フェスティバル運営補助

●一商同窓会の活動は皆様の年会費と賛助会費で運営されております。

● 都立一商同窓会 <http://www.isshou.jp/> 検索

100周年記念事業予算

| 収 入 | |
|------------|--|
| 学校残金 | 200万円 定期預金 |
| 同窓会積立金 | 300万円 |
| PTA積立金・寄付金 | 220万円 |
| 同窓会募金 | 1,500万円 目標 |
| 祝賀会 | 600万円 参加者600人(会費@10,000、参加者同窓会500人PTA100人) |
| 記念誌売上・広告料 | 100万円 |
| 合計 | 2,920万円 |

| 支 出 | |
|-----------------------|---|
| 式典 (平成30年(2018年)6月2日) | 200万円 学校にて(謝礼・生徒記念品600・事務費等) |
| 祝賀会(同上日) | 800万円 セルリアンタワーにて(700人(@10,000)同窓会500人PTA100人来賓・教職員100人) |
| 記念誌 | 1,500万円 2,000部 平成30年10月発刊予定 |
| 記念石碑 | 200万円 平成30年5月完成予定 |
| 予備費 | 220万円 |
| 合計 | 2,920万円 |

東京都立第一商業高等学校創立100周年記念募金会 会則

1. 名称
本会は、東京都立第一商業高等学校創立100周年記念募金会と称する。
(略称を「都立一商同窓会100周年募金会」とする。)
2. 事務所
本会は、事務所を同窓会事務所内に置く。
3. 目的
母校都立一商が、平成30年(2018年)に創立100周年を迎えるに当り、その諸費用に充てる為、同窓会会員及びその他の人々から募金を集める為の会である。
☆記念誌は、学校と同窓会併せて2種類を発行する。
4. 役員
本会に次の役員を置く

- ① 会長
 - ② 発起人代表
 - ③ 発起人
 - ④ 事務局長
 - ⑤ 監事
- (1) 会長は、同窓会会長が兼務する。
 - (2) 発起人代表は、前同窓会会長とする。
 - (3) 発起人は、同窓会の顧問及び相談役と同窓会の役員全員及び「鉢山クラブ」の役員全員とし、各期からの推薦者もこれに加えるものとする。
 - (4) 事務局長は、同窓会の財務委員長が兼務する。
 - (5) 監事は、同窓会の監事が兼務する。

5. 管理運営
- (1) 新規に郵便局に払込口座を設ける。
 - (2) 必要な経費は、集まった資金より支払う。
 - (3) 毎年度毎の状況を監事が監査し、同窓会の総会の際に報告する。又、会報に掲載する。
 - (4) 平成30年3月31日までに5万円以上の寄付をした者(団体含)の名を特別功労者として記念石碑にその名を記す。又、ご協力いただいた方の名を全て記念誌に掲載する。
 - (5) 最終段階で残ったものは、同窓会の奨学金委員会の管理とする。

平成26年6月21日制定 平成27年5月19日改訂

●一商同窓会の活動は皆様の年会費と賛助会費で運営されております。

● 都立一商同窓会 <http://www.issou.jp/>

同期会・クラス会・クラブOB / OGG会開催

凡例

■平成27年4月30日迄に開催済
□平成27年5月1日以降に開催

□20期5組クラス会(清明会)

年月日:平成26年5月14日(水)
会場:赤坂「青山荘」

世話人:小林 伸

■23期5組クラス会(一土会)

年月日:毎月実施
会場:竹橋「KKRホテルリラ」

出席者:10、13名出席

世話人:家田和則

月例昼食会(8月を除き毎月実施)忘年会は新宿「鳥どり」。平成26年5月15日(木)は月例会後に故山崎實氏の墓参り。一泊旅行、ゴルフを毎年実施していたが、ゴルフは中止した。

■23期7組クラス会(七友会)

年月日:平成26年12月5日(金)
会場:三軒茶屋「スカイキャロット」

出席者:7名

幹事:鈴木 實、秋田元一

□23期8組クラス会(七友会)

年月日:平成27年6月5日(金)
会場:三軒茶屋「スカイキャロット」

幹事:鈴木 實、秋田元一

□25期1年1組クラス会(キノ会)

年月日:平成27年5月23日(土)
会場:田町「道灌かがり」

出席者:10名

幹事:大内鏡一、秋本 鐘

(太田道灌と太田家の酒造り)

■28期同期会「28期会」

年月日:平成26年6月10日(火)
会場:赤坂「ホテルニューオータニ」
出席者:16名

世話人:米沢 章

■29期杉の子会「杉村一雄先生を偲ぶ会」

年月日:平成26年5月19日(月)
会場:青山「レストラン・やまと」

出席者:12名

世話人:宮崎(F)、栗田(B)、田中(C)

例会と募参り 毎年同月同日開催

参加希望者は宮崎03-3626-7077まで

7まで

■29期同期会

年月日:平成26年10月20日(月)
会場:渋谷エクセルホテル東急

出席者:33名

幹事:青木(A)、長坂(B)、杉本(C)、近藤(D)、酒井(E)、宮崎(F)

全体事務局:海口

次回H28、10予定

100周年記念募金会5万240円

■29期A組クラス会

年月日:平成27年6月21日(日)
会場:道玄坂パンダレストラン

幹事:青木生夫、吉埜 隆、樽木正保

■30期D組クラス会(松友会)

年月日:平成27年4月18日(土)
会場:まいか(米香)上野店

出席者:8名

世話人:大槻 實

■31期傘寿の同期会(第6回目)

年月日:平成27年4月4日(土)
会場:母校会議室

出席者:61名

当 番:E組:宮内実太郎、斉藤順子



31期傘寿の同期会

H組:松田 充

各組:A組:齊藤圭弘、新海喜三郎

B組:青木重憲、榎本利雄、渡邊義明

C組:飯泉善一郎、大野真之介

D組:白鳥 猛、鈴木得一郎

F組:熊井加代子、松宮秀治

G組:牛木大雄、鈴木 信

相田副校長、菊池同窓会長ご出席

□32期卒業後60周年記念同期会

年月日:平成27年6月24日(水)
会場:東郷記念館

代表幹事:菊池敏郎

幹事:浅間良一、吉田清一、田中健

一、植松竹二郎、宇佐美悦伸、鈴木

隆久、長野さかえ、大久保良子、細

野和子、大西節子


我が家の相続税 ちゃんと知りた

税理士法人 さかした (35期)

代表社員 税理士 坂 下 賢 三

代表社員 公認会計士 坂 下 幸 之

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-6
PHONE. 03-3254-3021
F A X. 03-3254-3022
e-mail kenz.52@sakashitax.com



富里ゴルフ倶楽部 カレドニアン・ゴルフクラブ

千葉県山武郡芝山町 千葉県山武郡横芝光町
小原子773 長倉1658
http://www.tomisatogolf.net/ http://www.caledoniangolf.net/

グリーンスピード14フィートの高戦略コースをお楽しみください。
詳しくは、各コースのホームページをご覧ください。

〒102-0083 東京都千代田区麹町1-7 相互半蔵門ビル8階
東京グリーン富里カレドニアン株式会社
代表取締役会長 早川 治良(31期)
Tel 03-3237-8411 Fax 03-3237-8417

●一商同窓会の活動は皆様の年会費と賛助会費で運営されております。

● 都立一商同窓会 <http://www.isshou.jp/> 検索



33期E組クラス会 (モッチャン会)
出席者 ● 関根、関屋 (福原)、堀江、梅沢 (渡辺)、西嶋、山崎、望月、松尾、鈴木、長谷川、渡辺 (堤)、並木 (玉田)、小泉 (久野)、飯田 (小林)、望月 (飯沼)、佐相、宇田尻、村松



33期A組クラス会
出席者 ● 飯塚、石井、稲村、猪瀬、大塚、大鳥、小山、鈴木、芦沢、谷島、土信田、濱中、宮澤、森田、山本

■ 33期A組クラス会
年月日：平成27年1月20日(火)
会場：がんこ銀座四丁目店
出席者：15名
幹事：飯塚忠司、稲村良作
□ 33期A組クラス会

■ 37期同期会 (珊瑚会)
年月日：平成27年3月5日(木)
会場：ライオン銀座七丁目店

幹事：山口康夫、笠井芳治
故釣流英明先生の奥様ご出席

出席者：13名

会場：東池袋 魚真

■ 36期G組クラス会 (一商3G会)
年月日：平成27年4月18日(土)

幹事：飯島利和、伊藤 浩、瓜田一男、倉本光明、長尾義次、吉田正彦

出席者：10名

会場：NEC芝クラブ

□ 35期同期会
年月日：平成27年6月4日(木)

幹事：鈴木庄一、西嶋 武

■ 33期E組クラス会有志による散歩会
年月日：毎年6回程度実施

幹事：鈴木庄一、西嶋 武

■ 33期E組クラス会有志による散歩会
年月日：平成27年3月25日(水)

場所：目黒川の桜並木

出席者：10名

幹事：鈴木庄一、西嶋 武、梅沢精子 (渡辺)、並木まつ子 (玉田)

■ 33期E組クラス会有志による散歩会
年月日：毎年10乃至11月実施

会場：都内周辺

幹事：鈴木庄一、西嶋 武、梅沢精子 (渡辺)、並木まつ子 (玉田)

■ 33期E組クラス会 (モッチャン会)
年月日：平成26年12月3日(水)

幹事：鈴木庄一、西嶋 武、梅沢精子 (渡辺)、並木まつ子 (玉田)

出席者：18名

会場：京王プラザホテルかがり

■ 33期E組クラス会 (モッチャン会)
年月日：平成26年12月3日(水)

幹事：鈴木庄一、西嶋 武、梅沢精子 (渡辺)、並木まつ子 (玉田)

出席者：18名

会場：京王プラザホテルかがり

■ 37期同期会 (珊瑚会)
年月日：平成26年6月7日(土)

幹事：田島嗣也 (代表)、股野、瀧澤

出席者：29名

会場：ライオン銀座七丁目店



37期H組クラス会 (3H鉢山会)
出席者 ● 石田、大竹、大森、小野、粕谷、小森、斉藤、下田、高塚、丹沢、中馬、鳥居、夏井、根岸、村山、村田



37期同期会 (珊瑚会)
出席者 ● A：小野、西岡、吉田 B：田島、中村、八木、山田 C：澤田、川崎、松井 D：堂野、榎本、篠崎、滝澤、股野、黒沼 E：新倉 F：藁、加納、石井 G：岡村、尾村 H：石田、大森、大竹

**税理士
行政書士**

山本剛事務所

所長 山本 剛 (41期)

東京都千代田区丸の内二丁目5番2号
三菱ビル9階 957区-B 〒100-0005
電話 (03)3284-1941(代)
FAX (03)3214-3520

ご退職前後の皆様 完全予約制 ランチセミナー

お金のことを考える2時間

ゆとりあるセカンドライフの実現に向けて、
おひとりおひとりのライフスタイル、ご家族やご資産の状況に
合わせた「未来」設計書を作りましょう。

**2015年
6月20日(土)
12:00~14:00**

野村証券渋谷支店にて

お電話にてご予約ください。
地図等、当日のご案内をお送りします。
お口座をお持ちでない方、ご夫婦での
参加もお待ちしております。

定員20名 無料 昼食付

野村証券株式会社 渋谷支店 東京都渋谷区渋谷1-14-16
一商鉢山会様担当：北村・濱名 **03-3400-7121**
(平日 8:40~17:10)

※案内に記載のセミナーでは、セミナーでご紹介する商品等の勧誘を行う場合があります。

●一商同窓会の活動は皆様の年会費と賛助会費で運営されております。

● 都立一商同窓会 <http://www.issou.jp/>



42期3年B組(金八会)クラス会


- 会 場：代官山 美味飲茶酒樓
出席者：16名
- 幹 事：大竹英一、丹沢栄一
- 37期H組クラス会(3H鉢山会)
年月日：平成27年6月6日(土)
会 場：新宿 中村屋本店
世話人：大竹英一、丹沢栄一
- 39期A組クラス会
年月日：平成27年6月6日(土)
会 場：上野 音音
幹 事：花巖昭夫、諸星百合子
- 40期同期会
年月日：平成27年10月8日(木)
会 場：リストランテASSO
幹 事：横田忠夫、石井敏勝、大島 嵩
- 41期同期会・古希を祝う会
年月日：平成27年6月6日(土)
会 場：がんど銀座一丁目店
幹 事：山本 剛、磯部宏次
- 42期3年B組(金八会)クラス会

- 年月日：平成27年2月22日(日)
会 場：数寄屋橋ニュートリーキョー
ラ・ステラ
出席者：18名
- 幹 事：笠井貴司、鶴飼清美
- 43期A・B合同クラス会
年月日：平成27年5月9日(土)
会 場：住友化学 参宮寮
幹 事：A組：山井敏郎、石坂 憲
B組：竜沢かな子
- 43期G・H合同クラス会
年月日：平成27年10月予定
会 場：未定
幹 事：岩橋四郎(田)、長崎幸彦(田)
連絡係：今井誠策(G)
- 45期
年月日：平成26年11月22日(土)
会 場：母校
幹 事：代表：浅野勝美 委員：関根邦雄(C)、佐藤 謙(C)、岩佐芳一(D)、野村寛子(D)、田中誠司(G)、高城雅史(田)
行事ホームカミングデーに合せて実施(詳細は30頁ホームカミングデーと同期会)
- 47期C組クラス会
年月日：平成26年10月18日(土)
会 場：表参道スペインバルエルヴエロ
出席者：14名
幹 事：太田守宏、中野 昇、溝口理恵子
- 47期C組クラス会
年月日：平成27年は10月予定
会 場：未定
- 柔道部OB会(一柔会)
年月日：平成27年4月11日(土)
会 場：田町 料亭「牡丹」

- 出席者：21名
- 幹 事：井上七郎(39期)
- 柔道部OB会(一柔会)
年月日：平成28年4月9日(土)
会 場：田町 料亭「牡丹」
幹 事：井上七郎(39期)
- 一柔会ゴルフ部会
年月日：平成27年5月20日(木)
コース：川越グリーンリンクロス
参加者：4組
幹 事：坂田 潔(39期)
- 一柔会ゴルフ部会
年月日：平成27年10月予定
会 場：未定
幹 事：坂田 潔(39期)
- 三菱電機鉢山会
年月日：平成26年4月25日(金)
会 場：ミクニ ヨコハマ
出席者：10名
幹 事：松宮壮年、小倉偉男



柔道部OB会(一柔会)




http://totteokiya.jp/

カタログ商品の御用命・御問合せ先
0120-987-296 コンタクトセンター
物流センターの御問合せは
03-5755-8550 宇野まで

食品…全国、津々浦々の銘品のご提供
ショップチャンネル、ディノス等々へ
とっておきやプレミアム 自社媒体

とっておきやプレミアム

平和島にて冷凍、冷蔵、常温 三温度帯の
物流センターを8年間にわたって営業



東京都渋谷区千駄ヶ谷5-32-7
NOF 南新宿ビル2階 〒151-0051
Tel:03-5367-2327 Fax:03-5367-2328
代表取締役 大野 進 (38期)
株式会社オーjeeフーズ(創立1989年)

●一商同窓会の活動は皆様の年会費と賛助会費で運営されております。

● 都立一商同窓会 <http://www.isshou.jp/>

■山岳部OB・OG会

年月日：平成26年10月5日(日)
会場：奥沢 とんかつミカド
出席者：23名(内OG2名) 29～51期
幹事：青木繁憲(31期)
山岳部会長澤田さんのお店



山岳部OB・OG会



山岳部OB・OG会

■数学研究部OB・OG会

年月日：平成26年10月7日(火)
会場：青学アイビーホール
出席者：16名
幹事：海口(29期)、内田、小林、
田中、野村(30期)



数学研究部OB・OG会 (()内は期)
後列左から 長崎(34)、井上(32)、田中(30)、菊池(32)、小島(36)、吉野(32)、相原(36)、林(32)
前列左から 香取(旧姓)(37)、富越(37)、松本(旧姓)(34)、新野(旧姓)(34)、海口(29)、野村(30)、小林(30)、内田(30)



三菱電機鉢山会
出席者●松宮、茂木、白石、鬼島、秋本、小倉、大島、小島、本田、北山

□100周年記念募金会5万1千円

■数学研究部OB・OG会
年月日：平成28年4月23日(土)
会場：渋谷エクセルホテル東急
幹事：林・菊池(32期)
■ブラバン3期合同OB・OG会



ブラバン3期合同OB・OG会 (女性は旧姓)
出席者●44期：青木(秀)、青木(陽)、上杉、小原、汲田、中村、森
45期：太田、片山、長江、古田、吉原、岩佐
46期：飯村、清水、鈴木(常)、目黒



陸上競技部OB会 (平成26年10月18日)
出席者●33期：宇田尻、稲田 34期：永井、雨宮
36期：吉間、柴田 37期：田島 39期：茂木

□商業実践部OB会(一実会)

年月日：平成27年6月13日(土)
会場：東京ガス青山クラブ
幹事：和田貞夫
当番幹事：新川 宏

■陸上競技部OB会

年月日：平成27年2月28日(土)
会場：銀座 フレンド
出席者：8名
幹事：宇田尻信一(32期)、
田島嗣也(37期)

■陸上競技部OB会

年月日：平成26年10月18日(土)
会場：銀座 まり
出席者：8名
幹事：宇田尻信一(32期)、
田島嗣也(37期)



陸上競技部OB会 (平成27年2月28日)
出席者●33期：宇田尻、稲川、稲田 34期：永井、雨宮
36期：吉間 37期：田島 39期：茂木

●一商同窓会の活動は皆様の年会費と賛助会費で運営されております。

● 都立一商同窓会 <http://www.issou.jp/>

著名人訪問
その2

吉田正子(よしだ まさこ)さん 57期

2014年1月『日経WOMAN』誌でウーマン・オブ・ザ・イヤー、キャリアクリエイト部門受賞者として吉田正子さんが表彰された。

吉田正子さんは1980(昭和55)年一商卒の57期生、現在、東京海上日動火災保険株式会社執行役員兼旅行業営業部長の要職にある。一般職として東京海上株式会社に入社し、本店保険契約業務を皮切りに営業職、人事企画部、支社長などを経て現職に。スキルを磨き、幅広い職種を経験したキャリアアップを高く評価され、一般職社員でも成果を積み重ねることで会社役員に昇進できるといった新たな道筋を示したことにより受賞となった。

吉田さんは女性の活躍が改めて脚光を浴びている今、時代に先駆けトップ企業の中で認められ、対外的にも広く注目されている。その活躍を戸田校長はじめ母校関係者は大変喜び、同窓会としても祝意を表するため昨年十月九日、銀座のレストランにお招きし、菊池会長から記念品(置時計)を贈呈するとともに石田副会長を交え、親しく懇談のひとときをもった。吉田さんは飾らないお人柄で気さくに応接された。

会長―『日経WOMAN』誌、ウーマン・オブ・ザ・イヤー2014年受賞おめでとうございます。皆さんの憧れの時代です。吉田さんは皆力くださるようお願いいたします。同窓会から、ウ



記念品贈呈(置時計)

吉田―期待通りでした。入学時クラス担任の先生から勉強を頑張った人は東京海上に推薦されることをお聞きし励まされました。

同窓会―大学進学希望はありましたか。
吉田―考えておりませんでした。

同窓会―学べてよかった商業科目はどんな科目でしたか。

吉田―簿記が好きでした。工業簿記は授業にありませんでしたが、有志を対象に特別授業をしてくださいました。簿記は全商1級、日商2級です。

同窓会―お仕事の関係から数学は得意科目だったのではありませんか。

吉田―数学は得意ではありませんが、数学には思い出があります。ある学期で数学が5・6時限にあり、体調が悪いので早退を申し出たところ早退は却下されました。クラス担任が数学担当の吉田信佐(しんすけ)先生で、担任の科目を早退するとは何事かという訳です。お陰で卒業のとき皆勤賞をいただいたうえ皆勤賞代表にさせていただきます。

同窓会―ご経験から高校でどのような商業教育を望まれますか。

吉田―簿記をベースに仕訳のことなど後にいろいろ役立つことを学べたのがよかったです。授業では現在の経済の状況などにも触れていただくこと、例えばトヨタの経営状態などのほか、会社がどういった仕組みで動いているか、ニュースをかみくみ教えていただくこと、今の時代にどのようなことが起きていくか、キャリアルに説明していただくとともに、教科書に載っていることをひと言でもふた言でもつなげて教えてほし

ーマン・オブ・ザ・イヤー受賞を記念し、記念品(置時計)を贈呈させていただきます。

吉田―ありがとうございます。身に余る光栄に存じます。感激です。末永く大事にさせていただきます。

同窓会―それでは、これから一商時代のことやお仕事のことなどお話を聞かせ願います。一商を選択された理由は。

吉田―家業が園芸関係の仕事でしたので、当時住まいが世田谷で、父から近くの園芸高校を薦められました。でもこれからは商業の時代ではと商業高校に進みたいと父に話したら認められ、中学の先生からも商業高校なら一商にしたらと薦められました。

同窓会―入学前の期待と入学後とで違っていただけとありましたか。

いと思います。

同窓会—どんな文化部や運動部のクラブに入っていましたか。

吉田—バトン部に入っていました。当時まだ同好会でした。部にならないと部費がもらえないので生徒会に交渉に行き、部にしてもらいました。部員は20人位でした。

同窓会—一商時代、特に印象に残っていることはございますか。

吉田—文化祭の実行委員をやっていたことでしょうか。実行委員として後夜祭の準備を担当しました。従来、後夜祭をやっていた男子のクラスでやり手がなく、女子クラスの私がやることになりました。クラスはA〜Gまで、男子のいるのは3クラス、男子は全体の2割弱でした。後夜祭のキャンプファイヤーでは校舎屋上からロープを吊るし、色をつけて着火させる仕方を化学の先生に相談しアドバイスを下さいました。クラス全体でやったのがよく大変盛り上がりしました。

同窓会—高校のときからリーダーシップはあったのですか。(笑)

吉田—そのほか思い出として、卒業のときクラスで丹沢寮に行き、宿泊したことです。最初、宿泊は学校からダメといわれましたが、交渉しOKとなりました。(※当時学校の施設)

同窓会—就職に際し、東京海上を選ばれた理由は。吉田—入学した時に、担任の吉田先生より「頑張った人は東京海上に推薦してもらえ。だから頑張らなさい。」というお話があり、漠然と就職は東京海上へと思っていました。就職時に私より優秀な人も東京海上を希望したため、担任

の吉田先生、就職相談の成瀬先生、倉持先生はぜひぶんと悩まれたようです。結局、「二人で受けてきなさい。落ちることがあれば、先生が会社に乗るんでいく。大丈夫だ。」とおっしゃってくださいました。幸い、二人とも採用してもらえました。

同窓会—そのとき、東京海上では何人位採用されたのですか。

吉田—採用は全体で約200人で、高卒はそのうち約40人でした。そのほか地方で採用の方もおります。



バトン部時代の仲間と
(写真左：右から2人目、写真右：左端が本人)



同窓会—入社されたとき、心がけようと思っていたことはありますか。

吉田—先生に応援していただき入社したこと、後輩のこともあるので3年はやめるなど先生からと母からもいわれましたので、大変でも頑張ろうと思いました。翌年も一商から2名採用してもらいました。けれども3年後には高卒の採用はなくなりました。この東京海上で高卒採用がなくなった背景には時代の変化があります。1986年に男女雇用機会均等法ができ、87年度から4年制大卒女子の採用が始まると共に高卒者は大卒者に代わってゆきます。

同窓会—仕事が面白いと思えるようになったのはどんなことが契機でしたか。

吉田—入社当時、各種集計作業を多く担当していましたが、集計ミスがありました。その時に上司から「数字の集計は足し算、引き算だけではなく、その数字の背景、理由を把握することが仕事なのだ。」と注意されました。数字の意味を知ることが必要であり、大切であると教わったわけです。それ以来、仕事の意味を考えると、また自分の仕事がいりいなこととつながっていることがわかってきて、仕事が面白くなりました。

同窓会—これまで様々の業務をされてきて、どの業務が一番大変でしたか。

吉田—どの仕事も大変でしたが、人事がやはり一番大変だったかもしれません。人事部での仕事はそれまでと全く違う仕事でした。それまでは総合職(男性)が担っていた業務を引き継ぎ、女性社員の異動や考課を担当することになりました。ただ、社員の人事(要員)管理では、簿

記の仕訳の考え方が役に立ちました。また、色々な局面でそれまでの仕事がつながっていること、事務や多くの先輩、仲間とやってきた仕事が大きく影響することを実感しました。

同窓会―「女性の元気度UP推進チーム」リーダーを担当されるなど女性の働きやすい会社にするため尽力されていますが、それにはどんなことが大切と思われますか。

吉田―「推進チーム」は優秀な女性社員が、退職していくのはもったいない。大きな損失であるという、人事部長の想いから人事部の女性メンバーで立ち上げたプロジェクトです。女性たちが元気に働き続け、新たなステップにチャレンジしていくには何が必要かを検討し、提案をするというものでした。女性が働き続けるためには、一つ目は人事制度も含めた各種制度の整備があります。育児休業、短時間勤務、フレックステル等です。二つ目は、その制度を活かすためには上司の理解や女性を育成、指導といったマネジメント面も必要となります。そして三つ目に、何より女性自身が仕事を面白いと思えること、やりがいを感じることで。そういった観点でプロジェクトが進み、ご主人の転勤に合わせて本人も異動を可能とするインターン異動や、新たな経験を積むためのUターン異動の制度も生まれました。

従来は一般職のままでは管理職になれないという制度でしたが、2004年度の人事制度の改定で、全国的な転居転勤のある全国型と本人の同意なしではの転居転勤を行わない地域型という区分だけで、仕事そのものは同じとなりました。それにより地域型(旧一般職)にも管理

職の道が開かれたのです。この「女性の元気度UP推進チーム」では2002年に検討を開始し、翌年具体案を提案し、2004年には新しい制度の導入実施となります。2004年は丁度、日動火災と合併した年と重なりました。

同窓会―安倍首相の女性重視政策よりも大分、先行してますね。ご担当の旅行営業部はどのような業務で、部長職にはどのようなことが求められますか。

吉田―旅行業界を中心に担当していますが、具体的には海外・国内旅行のための保険業務です。部長としては先ず数字を上げることです。そのほか新規商品開発、事故防止策などを旅行会社と検討することです。部長のもとに課長6人、部署全体で約60人おり女性の多い職場です。

同窓会―執行役員をされていますが、どのような職責でしょうか。

吉田―執行役員として旅行営業部を任されています。旅行分野のマーケットの拡大、新たな商品開発等がメインです。また、社内全体での女性の活躍推進、これからの人たを育成していくことが大きな役割と考えています。

同窓会―仕事を離れて、ご自身のいま一番の楽しみ、ご趣味は何でしょうか。

吉田―体を動かすことが好きで、最近はゴルフです。ゴルフは30歳のときはじめています。白ティーから打ちます。今は少ないですが、映画も見ます。以前は月2本程度、面白いもの、話題になつてくるものなど何でも見ます。カラオケなど何にでも顔を出す方です。

同窓会―マラソンをやられていますか、初められたきっかけは。

吉田―入社後10年で、リフレッシュ休暇がありました。ホノルル・マラソン参加を思い立ち、上司に話したところ却下されました。しかし無理はしませんということで許可してもらいました。先輩の方と一緒に走り、結局7時間かけて完歩しました。その後、フルマラソンはやっていず、ハーフマラソン程度です。時々スポーツクラブに行き走ったりしています。若い人

に言っていることは仕事をするには体力が大事なことで、健康管理も仕事のうちと話しています。

同窓会―現在の一商生、また最近卒業した卒業生の皆さんに望まれることがありましたらお願いします。

吉田―世の中に起こっていることは私たちといろんな接点があり、また、趣味の世界でも今はいくらでもインターネットなどを通じ勉強できる時代となっています。興味をもつこと、何事でも興味をもたれることではないでしょうか。分らないままで見過ぎさなことです。時の総理大臣が何を考えているか知ること大事だと思います。

同窓会―最近読まれた本でお薦めの本はありますか。

吉田―『自分のアタマで考えよう』(ちきりん著)という本を若い人たちに薦めています。去年はどうだったかなど、自分でデータを見て、自分で考えてみるのが大切だと思うからです。

同窓会―本日はいろいろとお話いただきありがとうございます。今後とも若い人たちに希望を与える社会がつけられますようご尽力されますとともに、ますますのご活躍を期待いたしております。(大森東亜記)

校章の由来の研究

海□ 頼久 (29期)



本文は母校一商の校章の由来やその意義について、独自に調査し、発表する文章です。

一商の校章は

神話をもとにした

「八咫(ヤタ)の鏡」ではなく
「明鏡止水」の心をもって

学業に励むことを

論じた鏡(八稜八葉)
のデザインです。

第一章 校章デザインの検討

現在、一商の校章のデザインは「八咫の鏡」であると言われています。

私たち一商生は、母校一商の校章を戦前戦後、一商が世に冠たる商業学校、いや中等教育の中心的存在であった象徴的なものであったと自負し、誇りに思っています。

戦後の昭和二二、三年(1947、8年)頃、当時の武市校長が六三三制移行の際に「一商の校章は、八咫の鏡で軍国主義、神話を象徴している」と批判され、「一商の校章は、明鏡止水の心を表すもの」と反論して、校章を守り且つナンバースタールの名を残させたとのことが私の記憶にあります。

「偶然出会った八片の縁の鏡」

私は平成二六年夏、東京国立博物館で開催された「故宮博物院」を見たその感の余韻で、一階の考古学資料室に立ち寄り、丸い鏡の中に入った一片の校章の縁と同じ「八片の縁の鏡」を偶然見つけてしまいました。まさに武市校長が言われていた一商の校章の縁のデザインです。

感激して、解説のカードが涙で読み取れません。ようやく読めたカードには「瑞花雙鳥鏡 八王子市白山神社 一一九二年出土」とありました。早速、現地に当りました。現地ではその鏡の出土の情報さえ知らないのです。

校章と言われている「八咫の鏡」が本当なのか、武市校長の言われた明鏡止水の鏡が真実なのか調査にかかりました。調査していきますと、鏡は考古学でももちろん、中国の歴史や日本の歴史、即ち邪馬台国、卑弥呼、遣唐使、古事記、日本書紀など、文様デザインなどに大変興味ある話題が多くあることがわかりました。

「八咫の鏡の由来、縁は丸」

八咫の鏡は古事記や日本書記に天の岩戸に隠れた天照大神を引出した鏡として知られています。

その八咫の鏡には二つの鏡があると言われています。一つは伊勢神宮のご神体、他の一つはその神体を象ったという皇居にある鏡です。神道五部書では「八葉」と言われていますが、八葉の解釈では、後に述べるように「丸」であるか、八片のものか明らかではありません。しかし、考古学者原田大六氏によれば福岡県の遺

跡から出土された「内行花文鏡」と同じ形状(丸型)であったと言われています。

その確認をすすめていくと、たまたま、その伊勢神宮のご神体と同様と称せられる「内行八花文鏡」が、本年夏に出光美術館で開催された「宗像大社国宝展」に出品展示され、また東京国立博物館の「日本国宝展」でも展示されていて、丸との確認がされました。

八咫の鏡は、「八」の字を冠していますが、後に述べるように中国の修辭に使われるものであると思われ、「丸」であると推定されます。



内行八花文鏡

第二章 校章は八片の稜形の鏡

「校章」の縁が八片あり、八咫の鏡でないことが確認されました。ではその、八片の縁をもつ鏡とはどのようなものなのか、どのような意味が、どのような性質のものか、歴史やデザインなどを調べてみたくなりました。

(鏡のデザインの種類)

鏡の歴史をひもとくと、鏡は中国では三、四千年以上の古くからつくられ、漢時代(日本では邪馬台国、倭委国王か)や漢の崩壊後の三国時代の魏まで、「丸

のデザイン」の鏡が造られ、代表的な鏡は「内行花文鏡」で、この円弧を花瓣に見立てたようです。鏡の中に、十二支や、四神、神仙思想等が描かれ、この時代の代表的なものとして「三角縁神獸鏡」が日本に多く入ってきたようです。

隋・唐時代からは、デザインは丸形に加え、「方形」や「八片」など多様化されて日本に入ってきています。

(正倉院等に見られる鏡の種類)

因みにその鏡の縁について正倉院(南倉/北倉)の宝物鏡には、円鏡、方鏡、六花鏡、八花鏡、八稜鏡、十二稜鏡があり残され、鏡の縁のデザインが多様化している、その数五五枚の記録があります。

同様に、興福寺や東大寺大仏殿、大管大寺等にも仏前に種々の鏡が供えられた記録があるようです。

八片の縁取りには、縁が浅い八花形と縁が鮮明な八稜形(左図 稜鏡)とがあります。

花形鏡は円鏡の円周の八か所に切り込みをつくって、もとの円周とは違った弧



八稜形

形に仕上げた鏡です。それに対して、稜鏡はその切り込みの間をつなぐ弧線の中央に、外方に向かった突起がつくってあります。いわば、「」の形の輪郭に造られています。

第三章 古代史からの確認

「魏志倭人伝と卑弥呼」

古代日本と中国の国交の歴史は、魏志倭人伝が最初の記録とされています。魏志倭人伝に二二九年魏の皇帝が倭(日本)を治める耶馬台国の女王卑弥呼に銅鏡百枚を与えたと記してあります。今回、その百枚は三角縁神獸鏡とみられ、その鏡と同じ鏡が中国洛陽で発見されたとの記事が載せられました。

(平成二七年三月二日朝日新聞)

今回の発見は、魏鏡説によるものです。卑弥呼に与えられたものと同様のものと考えられています。

当時の女王卑弥呼は、米作りに成功したクニ、グニを統率した、いわゆる「シャーマニズム」性をもったリーダーであり、邪馬台国の女王として君臨した女王とされているようです。その女王が魏の皇帝から倭国の女王の証しである金印と銅鏡を授けられたのです。卑弥呼がこの鏡を、太陽崇拜、巫女の呪力に使ったことは明らかです。そのシャーマニズム性により、伊勢神宮の祭神天照大神に、八咫の鏡へと転じていったのではないかと考えられます。

「何故、鏡に八咫の八の字が使用」

何故、八咫の鏡に八の字が付けられた

のでしうか。理由として、鏡の大きさを表したという説がありますが、正確ではないようです。

古代の日本人の考え方として、八百万(ヤオヨロズ)の神、大八洲(オオヤシマ)のクニと言うのと同じく、あるいは八宝菜のように一種の美称として表現されたようでもあります。

ところが、後の時代になると、八咫の鏡と言えば、何か八と言う数字に関係がある鏡であろうという考え方が生まれてしまいました。その結果として、奈良・平安期に流行した八稜鏡をもって、八咫の鏡と誤認することになったのではないかとされています(小林行雄氏「古鏡」)。古鏡の歴史から、弥生時代から、古墳時代にかけて、日本に存在した鏡は、円鏡に限られていたはずですが。

一商の校章のデザインは鏡のデザインの歴史からも魏志倭人伝による卑弥呼のシャーマニズム性からも八咫の鏡とする丸ではなく八稜(八片の縁)の優れた意義のあるものです。

第四章 八稜は優れた縁鏡

「鏡の意義と明鏡止水」

鏡は化粧用など生活の道具であります。物を映す意味から人間の意識の中にと及ぼす影響が大きく、神などの依り代、あるいは神などが宿る、「ご神体とも考えられるようになりました。

姿を映す水は、澄んだ清らかな波の立っていない水面でなければなりません。水はその形がなく、「水は方圓の器に随う」とされます。即ち、周囲の環境に影響されるものとされます。優れたこのように映す心境を「明鏡止水(荘子)と呼んだと言われています。

即ち「明鏡止水」とは、静かなよく澄んだ水のように、心の中が平らかなこと、平静で自由な状態で明らかであることを意味しております。

校章は右のような日本の文様・デザインや絵画の表現をもった鏡、明鏡止水を選び、「水は方圓にしたがう」といった自由な環境の中での確かな教育を理念としたと思われれます。

「稜形デザインと校章の理念」

校章の鏡が明鏡止水を意味し、デザインは稜(瑞)形であることがわかりました。その稜形の「稜」「瑞」にはどんな意味があるのでしょうか。

(稜と瑞、本来の意味)

漢和辞典によると、「稜」には形状から山の稜線と言うように「鋭い勢い」「かど、すみ」の意味が、また「神霊の威光」の意味もあります。

また、東京国立博物館の考古学資料室でみた鏡は「瑞花」の名前が記されていました。その「瑞」にはめでたい、喜ばしい、ご威光、勢いの意味があります。「範」とか「いましめ」の意味もあります。

鏡が明鏡止水の心境を表現し、鏡の縁が八稜で威光があり、範を垂れ、心の平静さを示すもので、「稜」の字義も「瑞」の字義に「威光や範・いましめ」といっ

たはば同じ意味が込められて、校章が意味する教育の理念が明らかになってきました。

「八稜のデザインの極めつけ」

八稜の美しさは、鏡だけでなく、仏教美術や盆、陶磁器にも使われてきました。(密教の神髄、曼荼羅の縁に使用)

この八稜の文様は、京都の東寺(昔は教王護国寺といわれていました)にある中台八葉院の胎藏界曼荼羅の縁にもみられる尊い文様であります。



東寺 中台八葉院 胎藏界曼荼羅

東寺は空海が日本に密教をもたらしした寺院です。中院八葉院マンダラ(曼荼羅)は物質と精神を視覚で密教の神髄を説くものとされ、東寺に伝わる国宝の両界マンダラのうち胎藏界の中心部分です。中央に坐すのは、大日如来のお姿です。このように八稜の縁が密教の教えや文化財に採用されていることは、真に「八稜」のデザインの価値、その意義が高く認められていることでもあります。

(東京国博重文 螺鈿盆)

東京国立博物館に重要文化財として、八稜の木製漆塗「龍濤螺鈿花盆」が展

示されています。元時代一四世紀の花盆と言われている。

文様は龍の文様で、中国では天子に関する物ごとに用いるもので、神靈視される巨大な想像上の動物です。非常に縁起の良い物とされています。

まさに、この螺鈿盆はわが校章の縁のデザインと同じものです。



重要文化財 龍漣螺鈿花盆

〔その他八稜のデザインの効用〕

八稜のデザインは懸仏や身近な陶磁器などにもみられます。八稜の陶磁器は贈り物、接客用に使用されています。

さらに平成二七年に発行されるはじめて千円銀貨の縁にも使われるようです。ただ、その銀貨の縁は八稜でなく一六稜の縁で角の摩耗を少なくするようです。

第五章 明鏡止水と

校歌「真澄の鏡」

校章に八稜のデザインを選び、明鏡止水の鏡として一商の理念をあらわしていることに私は感激しています。

「八稜の鏡の心境が校歌に」

この素晴らしい校章が何時、誰によって創られたのでしょうか。

そのカギは校歌にありました。懐かしく声張り上げる校歌の一番に

「都の空に 咲き匂う・・」

真澄の鏡かざしつつ・・」

この真澄の鏡の言葉こそ、明鏡止水であらわした最適のことばです。

この校歌は、昭和八年に 三代金井校長作詞、 広岡九一先生作曲の歌なのです。

校章はこの校歌の意図を汲んで作詞された金井校長によって考案されたと推定できるのではないのでしょうか。

学校関係に記されている資料には、校章は初代陶山校長が創られたとの記録がありますが、その真偽は確認の必要があると思います。

初代陶山校長時代の校歌は、「東の日出づるの・・」で始まる歌詞です。五番までであるこの校歌の中には、鏡や明鏡止水に関係する表現は全く見出せません。

初代陶山校長は中等教育の力が注ぎわが母校の基盤創りに貢献されてその功績は評価されますが、校章・校歌には関係なかったと言えましよう。

「やらに校歌との検証」

この「真澄の鏡」について、「真澄」の「澄」の字には「水が静かにたたえて清い」「透き通って清い」の意味があり、真がその純粹さを強調しています。明鏡止水の心が言葉を変えて表現されているのです。

同様に、四番の歌詞にある「清明の旗」も同じ心境を表現しているのではないのでしょうか。

「清明の旗」の「清明」も、「天下が平和に収まる」「心に曇りのないこと」、また「水の澄んでいること」の意味があります。

この「清明」の言葉は、一商にとって大変な使われ方がありました。清明寮(田園家塾)、清明原(修練農場)にみられるように、明鏡止水の心が使われているのです。

人間教育・人生教育の修練場を意味して使われたもので、一商独特の精神昂揚を図る意味を持っています。(鉢山クラブ誌29号石田壮吉旧師)

このように、わが校章・わが校歌は、一商の教育理念、それらに心境が表わされ、旗になびかせ、胸に付け、謳歌し続けてきているのです。

第六章 鏡の中央 商の変遷

わが校章は「明鏡止水」の心をもって、学業に励むことを論じたデザイン

「中央に描かれた商の意義」

校章の中央にある「商」の字は商業学校の商の字をとったのは明らかです。社会情勢、教育環境が変化する中、今まで検討してきた校章・校歌に関わる教育理念などから、最終章として、校章の「商」について検討してみたいと思います。

「商業」なる業態は時代の経過とともに変化し、現在では殆どその実態があるとは思えません。

大正の開校から戦後の一時期までは、生産地から消費地への流通を代表する問屋が代表的な商業の業態でした。昭和三〇年代後半から技術革新や消費者ニーズなどの高まりで、流通革新を来たし問屋機能が漸次衰退してきました。

現在では、生産者や消費者の各企業団体でも、顧客への満足提供のためにも、また自身の生存のためにも、市場調査、製品開発、市場開拓、販売促進などマーケティング、開発・生産・在庫などの投資、従業員の教育など、新機能が重要視され、それら機能を積極的に遂行してゆかなければならなくなりました。「商」商業の概念が希薄化してきたのです。

そして各企業や団体は、時々刻々、グローバル化の名のもと、技術革新、国際化、情報化、サービス化など推進し、改革・革新力を高め、新しい産業構造と機能が形成されてきています。

「学業 新しい商学概念」

学業の対象が、商業と言う業態でなくなり、時代に即した「顧客」「マーケット」志向の機能をもつ機関(企業団体)を対象に研究される新しい学問となってきたことに着目すべきです。

この新しい学問を総称する名称がなかなか見当たりません。現在の状況では、経営学、経営管理、マーケティング、ビジネス、経営科学、情報など呼ばれていますが、細分化、重複化していて、この分野の統合した適正な呼び名が見当たりません。

新しい企業あるいは集団は個別経済経営体制のもと、多面なリスクをとりなが

ら、マーケット志向で事業活動を、総合的に経済的に継続運営するものと理解するものです。

名付けて、商学として
提案したく思う次第です。

教育制度上の観点から、MBAのもと、

大学院・大学の商学専門教育

高校・中学は、中等商学教育

として体系を考慮してゆかなければならない時代です。

【中等商学教育とつら】

わが一商は2003年に「リーディング・コマニシャル・ハイスクール」に芝商とともに指定され、「高度な資格取得や望ましい勤労観・職業観の育成など商業教育の充実を図る」とされています。

また文科省からは「商業編」の指導要領と科目(左参考)が示され、それに準拠して指導されることになっております。

(参考) 平成22年度5月

高等学校学習指導要領

解説「商業編」科目

- ①ビジネス基礎 ②課題研究
- ③総合実践 ④ビジネス実務
- ⑤マーケティング ⑥商品開発
- ⑦広告と販売促進 ⑧ビジネス経済
- ⑨ビジネス経済応用 ⑩経済活動と法
- ⑪簿記 ⑫財務会計Ⅰ ⑬財務会計Ⅱ
- ⑭原価計算 ⑮管理会計
- ⑯情報処理 ⑰ビジネス情報
- ⑱電子商取引 ⑲プログラミング
- ⑳ビジネス情報管理

現在、高校は三年間教育です。実情は大学志向で受験競争に追われ、

二年目には多くは大学受験組にあとは就職組に分かれてしまいます。3年の短い高校で商業科目が右のように多く、そのうちで簿記が1年の段階で6単位もあるようです。

簿記は実務では端末やパソコンで自動処理されています。また図表グラフ等はパソコンで簡単に作られ、数学の論理性を補えます。小学生には論理性が必要なプログラムを描けるように指導することです。英語についての指導が大変変化しています。このように電子情報化の進展は著しいのです。商業(商学)科として考慮する必要があります。

近年特に環境の変化が激しく、教育上多くの課題が与えられてきています。

- ①六三三制の見直しによる中高一貫制
- ②国際化にともなう、語学力・コミュニケーション能力の必要性
- ③情報化進展に伴うICT教育の浸透

特に、タブレットと電子黒板時代の教育の進展

小学校・中学校の教育は日に日にレベルアップしてきています。中等教育としては右の三課題に加えて

- ④問題意識・問題解決のための自由な発想と討議
- が必要となります。

中等商学教育を担う都立一商は、緊急に弾力的にそれら対応とした差別化が迫られています。

以上、校章と校歌を検討し、一商の教育理念にふれ、第二世紀を迎える一商への期待を込めて、小論を述べてみました。

安全安心な介護を提供して30年

総合老人福祉施設 社会福祉法人 樺会

武蔵野の面影を残す自然豊かな地で、農園作業や四季の花々を楽しみ、
最後を迎えるまで安心して生活できる老人ホームです。

日本一の看取り実績

- ・特別養護老人ホーム
- ・グループホーム
- ・指定居宅介護支援事業所
- ・福祉相談センター
- ・訪問介護事業所



福祉の仕事に興味のある方はぜひ連絡を!!
社会福祉法人 樺会
理事長 吉間 秀雄(36期)
〒190-0034 東京都立川市西砂町5-5-5
特別養護老人ホーム 西砂ホーム
TEL 042-531-5957 FAX 042-531-2706
詳しいことは <http://www.keyaikai.or.jp/>

●一商同窓会の活動は皆様の年会費と賛助会費で運営されております。

● [都立一商同窓会](http://www.issou.jp/) <http://www.issou.jp/>

鉢山の想い出

三好 徹 (25期)

◆入学前後

わたしは昭和十八年(一九四三年)四月に府立一商に入学し、五年後の昭和二十三年(一九四八年)三月に都立一商を卒業した。この五年間の中で、約六カ月間、在籍していなかった。正直にいうと、商業科の中学校にどうしてもなじめなかったもので、離脱する手段を考えて実行したのだ。

わたしは昭和六年一月生れで、両親も山口県出身である。子どもは男四女四の合計八名。現在では、こんなに子沢山の家はほとんどないだろうが、明治生まれの夫婦にとっては特に珍しいことではなくて、

(八人だと、まあ、ちよつと多いかな) という程度の感じである。

当時は「生めよ、殖やせよ」が国家的スローガンだった。

フランスは文化芸術において優れた国家であるが、人口が減る一方である。このままでは亡びてしまうだろう、といわれていた。何といっても、国民の数が減少するのは衰弱の証拠である。従って夫婦は必ず三人以上の子を生まなければならぬ、という教えが国民の間に行きわたっていた。基本として、男子は成年に達したら兵士として一定期間は軍隊に入り、軍人としての訓練を受ける。「国民

皆兵」の理念に疑問を抱く人は非国民と

いわれた。日本国民に非ず、というわけである。

それはともかく、わが家は八人の子宝に恵まれたが、男一人女一人が共に学齢に達する前に病没した。現在のように医療が進化していないから、結核や肺炎で亡くなる子が多かったのだ。わたしは下から二番目で、生れたときには、すでに二人の兄姉が亡くなっていた。わたしの二年後に弟が生まれ、それが末っ子となった。現実には六人兄弟として育ったわけだが、長女と次女は間もなく結婚したから男三人女一人の四人で育つたようなものである。

この程度の数の子供がいる家は小学校でも一商に入ってから、まわりにいくらでもいた。

しかし、一商を出てから、さらに上の学校へ進むか就職するか、それぞれの事情によって進路が変わるわけだが、最終的にサラリーマンになるか、家業を継ぐか、独立して何かするか、いろいろな選択があるとしても、小説家になった例は、わたしは最初かもしれない。一商出身としては変りダネといっているだろう。

ただし、わたしが第五十八回(昭和四十二年下半期)の直木賞を受賞したあと、昭和六十年下半期の第九十四回直木賞を受けた森田誠吾氏(受賞作は「魚河岸ものがたり」である)が一商の出身である。直木賞は芥川賞とともに年に二回の選

考があるから、回数に三十六回の差はあっても、年数ではわたしの十八年後になる。だが、平成十七年版の「文芸年鑑」には、

—本姓堀野郵、大正十四年十月二十五日東京生まれ、東京商大中退、「曲亭馬琴遺稿」「魚河岸ものがたり」—

とある。郵とは変った名前だが、実はお目にかかったことがなかったし、作品も読んでない。商大(現一橋大学)出身の作家というと、古くは伊藤整、昭和生れでは城山三郎、石原慎太郎、田中康夫氏らがいるが、ゴルフでつきあいのあつた城山さん(昭和二年八月生れ)に聞いたことがある。

「大正十四年生れだと、二年先輩になるが、堀野さんという方は知らないな。年齢的にいうと、学徒動員で兵隊にとられ、戦争が終っても学校に戻らずに、それで中退になったんじゃないかな」ということだった。城山さんは学年では、わたしが早生れだから、三学年上になる。昭和二十年三月に名古屋の商業学校を出たあとに海軍に志願して入り、特別攻撃隊の訓練を受けた。しかし、八月に戦争が終って自宅に帰ったが、商大に入ったのは翌年四月。森田さんが一商を出てすぐに商大に入ったとすると、城山さんより三年先輩ということになる。

わたしとの学年差でいえば、森田さんは、わたしが一商に入った年に卒業して、たぶん浪人せずに商大に入ったのである。あろう、というのには、戦時下の日本では、浪人して上級学校へ進むことなど、とうてい許されなかったからである。

芥川賞や直木賞は、受賞するとパーテ

イが開かれる。すでに受賞した人には、招待状がくる。森田さんのときも招待状はきたはずだが、わたしは出席しなかった。もう一人の林氏も芥川賞の米谷ふみ子氏も知らない人だったからだ。

また、新聞の紹介記事でも、一商出身のことはふれていないから、行く気にならなかったのである。知っていればパーティに出たはずだった。

それはそれとして、大学の場合は、作家になる人がいくらいても不思議はない。東大、早稲田、慶応などはべらぼうに多い。だが、野球の六大学で調べてみると、前記三大学に比べて、他の三大学を出た作家は決して多くない。

文壇に学閥というものはない。官庁や会社ではそれがあるのは事実で、現在のことは知らないが、わたしが新聞社の入社試験を受けた昭和二十年代後半には、例えば朝日新聞では早稲田と東大卒でなければ昇進しない、といわれていた。

新聞記者になるなら、社内昇進などはどうでもいい、と心中に決めていたはずだが、記者として働きがいのあるポストに配属してくれるなら、学閥に関心をもつのも悪くはない。もつとも、学閥によってよいポストに配属されても、原稿が下手ならば結局はダメだろう。やはり実力の世界なのだ。

文壇の場合は、先輩と同じ学校の出身者がいようが、全く関係ない。学部の雰囲気によって、文筆をめざすものが他よりも多く出ることはあるかもしれない。それ以前に、漠然と、将来は文筆家になりたいという思いで、経済学部ではなく、文学部に入るケースはありそ

うだ。むろん、それから先は本人の実力次第である。

一商はその校風や授業内容からいつても、文筆関係の仕事我希望する人に適した学校ではない。その意味で、旧制の商業科の中学から二人の直木賞作家が出たというのは、珍しいことかもしれない。

だが、森田さんもそうだと思うが、入学したときに、将来は文筆を職業にしよう、などと思ったことはなかった。

日中戦争(当時はシナ事変)がはじまったのは小学校一年のとき、太平洋戦争は五年生のときである。低学年の生徒の遊びは、男の場合は「戦争ごっこ」が人気だった。といつても、負ける役に回るのはいやだから、遊びとしては難しいのだ。結局、からっぽの敵陣地に向かって、「突撃!」と叫んで突進し、おもちゃの刀を振り回すのがセキのヤマである。

わたしの学んだ小学校は品川区にある御殿山小学校である。現在のことは知らないが、わたしが在学していたときは、一学年は男子クラス一組(五十名)女子クラス一組(同)全校で生徒六百人と、いう小さな学校だった。それでいて、二十五メートルのプールがあったし、立派な雨天体操場を兼ねた講堂もあり、鉄棒や砂場もあった。また、バスケットボールのボールネットも備えられていたから、設備の点では満点だった。

第一、第二学年の担任は宮本能冬という先生で、サッカー(蹴球といった)の名手だった。体操の時間は、先生一人対生徒五十人でボールを蹴り合うのだが、むろん生徒が勝つことはない。先生はわたしたちが三年になったときに退職して

朝日新聞に入った。サッカー関係の事業部門に入ったようだった。

三年生のときの清水という先生は、一年間だけの担任で、そのあとペルーの日本人学校へ移った。

四年生から六年生までは、海軍出身の海野俊丸という先生だった。剣道の名手で、東京の代表として全国大会に出ていた。確か五段の免許をもっていたと思う。体操は、海軍体操という体にきつい体操を教え、剣道の時間もあった。

海軍出身のせいもあって、夏の水泳も熱心に教えた。主としてクロールと平泳ぎで、十名くらいの生徒を選抜してしごいた。わたしは平泳ぎで、六年生のときに神官プールの東京府学童選手権大会に出て四位だった。勝ったのは八王子の小学校代表だった。

授業となると、どうも記憶が怪しくなる。理由の一つは、成績の通知表が作成されなかった、つまり国語の試験で何点か算数がどうだったか、わからないせいもあった。それは学校の方針ではなく、点数をつけられない教育の実験校として、三校だけ選ばれたうちの二校だったのだ。といつても、先生が生徒を指名して質問し、その答えによって成績をつけるという方式ではなかった。学科については宿題が出されたから、それによって判断したらしい。もし、親なり兄弟が解答を教え、書くだけ本人がやればよい成績になったはずである。わたしには二学年上の姉がいて、秀才の典型だった。国定教科書だったから、たいていの場合、姉の教科書をそのまま使えた。教科書から作る宿題なんて、結局は同じ傾向のものに

なる。わたしが頭をひねる難題も、姉は片手間に解いてみせた。六年生の第二学期の終りに、五年制の中学へ進む生徒と、近くの高等科のある小学校に移るものとわかれた。高等科は二年である。御殿山は六年生で終わりだが、高等科のある場合は校名が〇〇高等小学校だった。義務教育は六年までだから、高等小学校に転校しなくて、すぐに就職する子もいる。十二歳だし背も小さい。たいした仕事はないが、家計の都合で上の学校へ行けない生徒もいる。五十名のうち二十名はいた。

わたしの親は、教育に熱心だった。ふつうのサラリーマンで、昭和十七年になると、統制が強化され、半強制的に東京市の外局に転職させられた。東京の行政区分は府と市と別だったが、昭和十八年六月に「都」になった。公立中学校も府立中学と市立中学とあったが、全て都立となった。

二年上の姉は府立第八高女に入っていたから、わたしも府立中学の試験を受けるつもりだった。父親は、府立は私立の授業料の五分の一ですむから、府立へ行くように、という。それはわたしも承知のことである。が、念のために母親に聞いてみた。府立に合格しなかったらどうなるのか。私立中学ならどこにするのか。母親はいつた。

「府立に合格できないときは大変ですよ。何があっても府立に入ってくれないと……」

すでに学区制が実施されていた。府立八中(現・小山台高)、同十五中(青山高)、

二十三中(大森高)の三枚のどれかになる。試験は一斉に行われるから、どれか一校に願書を出す。母親が海野先生のところへ相談に行った。先生の話では、三枚のどの中学も合格しないだろう、府立で合格できるのは、渋谷にある府立一商しかない、というのだ。(そんなパカな!)

とわたしは思った。

そのころは、入学試験といつても、受験生を一堂に集めて答案用紙に解答を書かせる方式ではなかった。私立中学はそうだったのかもしれないが、府立は小学校の教師の作成する内申書の評価によって決められていた。正確には、その方式だったらしいのである。

担任教師が、そういう内申書を作成すると決めているのであれば、わたしが八中や十五中に入れる可能性はない。それを察したらしく、海野先生は、「おたくの息子さんのほかに、海野福寿君も一商です」と母親にいつたという。海野の姓は同じだが、むろん無関係である。また、彼はクラス内でもできる生徒として定評があった。それと同じなんだからいいじゃないか、という意味なのだろう。

普通科の三校には、クラスから各一人が受けて、全員が合格した。わたしが納得したのは、八中に入った岸本直哉君だけで、彼は勉強しないのにできた。家はアイスクリームのようなスマックという冷菓の工場で、暑いときに遊びに行くと、父君が一つくれた。

御殿山小学校は坂の中途にあり、五反田方面は下町で、品川方向が住宅街だつ

た。岸本君の家は下町で、わたしの家は品川方向にあつた。

近くには、三井物産の会長をつとめ、茶人として名高い益田孝の豪邸があり、大通りの向こうには岩崎の別邸があつた。また、小泉信三氏の家もあつたし、ほかに、西園寺公望公爵の養子の西園寺八郎の邸宅。海軍大将山本英輔(権兵衛の甥)の邸宅、反軍演説で憲兵隊にマークされた斎藤隆夫代議士の家などがあつた。ひところは吉川英治さんが住んでいたこともある。

益田邸はビルマ大使館になり、西園寺邸は無人となつた。後年になって知つたことだが、ゾルゲ事件に関係した、とされて、都内居住を禁止されたのだ。西園寺公望は、天皇に首相を推挙する最後の元老である。生涯、独身だったので毛利家から養子を迎えた。無人になつた邸宅の庭で、わたしたちは相撲をとつたり、たき火をしたりした。

いうまでもなく、わたしの家はそういう邸宅街の中の下町のようなものであつた。わたしは、岸本君には及ばないとしても、他の二人の同級生に成績で負けるとは思わなかつた。しかし、担任の内申書が万能なんだから、どうにもならない。一商は定員三百五十名。倍率は一・四倍くらいだった。つまり五百名くらいが受けたのだ。わたしは、五反田駅まで歩き、渋谷で下りて登校した。すでに戦時スタイルで、上級生が先頭に立ち、隊伍をととのえて登校した。

わたしは一年二組で、担任は、青山学院出身という篠田という先生だった。一年で変り、二年のときには広岡九一とい

う音楽の先生が担任となつた。

わたしがうんざりした授業は簿記と生物だった。貸方、借方の違いがどうもわからないのである。山田三郎という先生が教えるのだが、ヤマサブという愛称で呼ばれていた。生徒同士の会話では、山田先生とはいわず、ヤマサブといつた。この呼称は世代を超えて使われたらしい。

当時はすでに衣服が配給制で、生徒は茶褐色の学生服だが、全員がいつせいに買えたわけではなかつた。わたしは順番がくるまで、兄の古着を着たと思う。母親は、始末のいい性質だったから、十二歳年上の長兄が着たものをちゃんとしておいたのだ。

やがて、衣料不足になつたとき、父親の着ていた古い服を仕立て直して着せてくれたし、和服は近郊の農家の野菜と物々交換に使われた。

先生たちは、国民服の優先配給で、たいていはそのカーキ色の服を着ていた。悪い生徒がいて、ヤマサブ先生が生徒の机の間を歩きながら講義しているとき、通りすぎた背中に万年筆をさつと振るのだ。すると、ペン先からインクが飛沫となつて先生の服の背中に点々とつくのである。冬なら下着を着込んでいるから感覚的にわからないはずで、自宅に戻つてぬいだときに、イタズラされたことに気がつく。インクだから洗ってもきれいにならない。やった生徒はわたしたちにわかっているが、告げ口するものはいない。印象としては、先生の教え方はどうも熱心すぎるのだ。わからない、というより、理解できずにいる生徒を眼鏡の奥からじ

つと見る目の光がわたしには気味悪かつた。

生物の先生は小柄でやはり眼鏡をかけた。わたしはきちんと答案を書いたつもりだが、成績通知書を見て博然とした。「丁」だった。甲、乙、丙、丁の丁である。

あとでわかつたが、生物部に入った生徒は試験の成績とは関係なく「甲」だつた。簿記や生物にうんざりしたが、いつて学校を変わることはできない。ただ一つだけ、そのルートのあることが、一年の秋にわかつた。中学一年か二年のときに受験できる学校があると知つた。陸軍幼年学校である。全国に六校あつて、合格すれば三年間の教育を受けてのち陸軍士官学校へ進む。男はいずれ二十歳になつたら兵役に服さねばならない。

わたしは受験することにした。全校で十人くらいが受けたと思う。

◆戦時下の中学生

今のローティーンに将来はどういう仕事をしたいか、と質問すると、男子では、野球、ゴルフなどのプロ・スポーツの選手、テレビや映画の俳優などが上位にくるらしい。女子も似たようなもので、野球の代りにフィギュアスケートの選手などが出てくる。あるいは、日本の学者がノーベル賞を貰つたりしたあとでは、そのジャンルの学者をめざしたい、という若者も出る。

だが、わたしが小、中学生だった時代は、男子であれば、第一位は軍人だった。日中戦争がはじまつたのは昭和十二年(一九三七年)の七月、初期の戦闘で活

躍して戦死した「西住戦車隊長」の武勲が大きく報道されたあとは、戦車兵志望が一番人気だったし、対抗するように、海軍航空隊の空のエースで空中戦で戦死した南郷少佐の武勲が伝えられると、戦闘機のパイロット志望がふえた。いずれにしても、戦闘の花形にあこがれるのである。

実際には、陸軍の主力は歩兵であり、海軍は軍艦乗組が基本である。歩兵は文字通り歩く兵士である。糧食や弾薬を入れた重い背のうを背負い、小銃を肩にかつぎ、敵軍と対戦するところまで歩く。雨でも雪でも、前進の命令が出れば歩かない。陸軍にも航空隊はあるからパイロットになる道はあるが、飛行技術は特殊技能だから誰もがなれるわけではない。海軍も航空隊要員は別枠で待遇も高いが、一般の軍艦勤務は辛いことが多い。戦争のはじまつた昭和十二年は、小学校一年生のときだった。西住隊長も南郷少佐も、少年向けの戦記ものとして単行本が出た。それらの本には、戦意高揚の狙いがある。数々の戦闘で殊勲を立てるが、結局は戦死するのが戦場の英雄の運命である。

明治六年から実施された徴兵制度で、成年男子は軍隊に入り、兵士の訓練を受けるのが、国民としての義務だった。それは誰もが承知していた。基本は三年間の軍隊生活で、終われば元の生活に戻る。本人が希望し、能力ありと認められるものは、下士官として軍隊に残れる。兵士だけでは軍隊は成り立たないのだ。太平洋戦争は小学校五年生のときにはじまり、府立一商に入ったころは、開戦

当初の楽勝ムードは消えていた。最初は、ハワイの真珠湾を空襲してアメリカの太平洋艦隊の主力艦を撃沈し、マレー半島沖でイギリスの新鋭戦艦プリンス・オブ・ウェールズと戦艦レパルスを海軍航空隊が沈め、陸軍はホンコン、シンガポール、マニラを占領したから、日本全体が勝ったも同然の気分になっていた。

しかし、本当はミッドウェイ海戦で海軍は惨敗しており、陸軍は、南半球のガダルカナル島で全滅に近い損害を受けていた。陸海軍がそれを国民に秘匿していたせいで、現実を知らされていなかったのだ。

その一方で、中学校においても、それ以前に軍事教練や剣道柔道などの武術が正課に取り入れられていた。各校には配属将校が送りこまれて、軍隊同様の教育が実行されていた。もともと配属将校の制度は、大正十四年にはじまっている。ワシントン条約による軍縮、つまり軍備の縮少が実行され、海軍は建造中の戦艦を廃棄したり、陸軍は兵員数を縮減した。具体的には、成年男子の軍隊入りの数を減らしたのだが、兵士の数を減らすことはできて、指揮官たる将校を退職させることは、万一の事態を考えると、きわめて困難だった。

兵士は、いざとなれば、補充できる。三年の軍隊生活を送ったものが一般社会に戻っている。基礎訓練はすんでいるから、一ヶ月もあれば兵士として戦地へ送り出せる。

将校というのは、軍の階級でいうと、少尉から上である。兵は三階級、その上の将校と兵との中間の下士官は、下から

伍長、軍曹、曹長、その上に、少尉と曹長の間に准尉がある。

尉官の上は、佐官、将官とあり、それぞれ、少、中、大の三階級だが、兵士といっしょに生活し、戦場に立つのは、この少尉、中尉、大尉の若い将校たちである。戦地に出れば、小隊長、中隊長として下士官を含む兵士たちを指揮するのだ。かれらの能力が高い軍隊は、どの国でも、強い軍隊である。

そういう重要な若手将校を軍縮だからといって軍隊から退役させてしまうと、万一、どこかの国と戦争になったとき、兵士はいても前線指揮官がいけない事態が生ずる。兵士を一人前の兵士にするにはきびしい訓練を必要とするが、指揮能力をもつ小隊長、中隊長は短期間では養成できない。つまり若い将校はいつたん減員すると、簡単に補充はできない。いつて兵士は減らしているのに、何もすることのない若い将校をブラブラさせておくわけにはいかない。

そこで政府が考え出した政策が配属将校制度だった。全国の公立中学校(旧制の五年制)と高等学校(三年制)、専門学校(三年制)に将校を配属し、軍事教練を正課として生徒たちに教えることにしたのだ。また、私立の中、高は希望すれば、陸軍が将校を送ることにした。

約千四百人の若い将校が各校に送りこまれた。公立中学校は基本的に一学年四ないし五組である。従って配属将校たちは、各学年各組に週一回二時間の教練をするとしても、けっこう忙しいのである。これによって、約千四百人の若い将校は失業せずにすみ、陸軍も前線指揮官を

保持することが可能になった。この制度が導入できたのは、健康な男子は成年に達すれば軍隊に入るから、その予備教育の意味もあつたのである。

昭和十八年には、中尉の配属将校が一商で教えていた。わたしの記憶では秋ごろには部隊に戻って行き、後任の将校はこなかった。南方戦線では米軍の反攻がはじまっていた。海軍では、四月に連合艦隊司令長官の山本五十六大(いそむく)大将が作戦指揮中に、名譽の戦死をしたと発表された。勝つていれば総大将が死ぬはずがないと……。

さらに兵士の数が不足してきたから、三年間の兵役(軍隊生活)を終えて民間人に戻っていた人たち(予備兵)にも召集命令が出るようになった。わたしのいとこは、すでに四十歳に近かったが、召集令状が配達された。否も応もない。指定日までに指定された部隊に出頭しなければ、兵役拒否とみなされて投獄される。わたしの兄は、昭和十五年に兵役年齢に達し、甲種合格でそのまま入営し、中国戦線に送られた。

若い配属将校が去つたあと、陸軍から後任の将校は配属されずに、代りに、一商で体育兼銃剣術の指導をしていた中老の大田という元陸軍少尉が学課としての「教練」の授業をはじめた。陸軍では小銃の先端に長さ四十七センチほどの短剣(銃剣といつた)を装填(そうてん)できるようにして、これを敵軍との白兵戦闘に使えるようにしてあつた。弾丸を撃ちつくしたあとの、肉体と肉体のぶつかりあう戦闘が白兵戦である。将校は日本刀を腰に吊れるようにこしらえており、それを抜剣し

て戦うのである。それは古来の剣道の技術でいいが、槍のような銃剣には、それなりの術がある。剣道と同じように技術の上手下手をあらわす段があつた。

正規の剣道も柔道も授業としてあつた。くわしいことは覚えていないが、剣道の授業の方が重視されていたように思う。必要な用具(面、胴、小手、竹刀)は備品が学校にあつたような気がするが、わたしは御殿山小学校四年生のときから剣道五段の海野俊丸先生に鍛えられたから、自分の用具を持っていた。



武道場落成 昭和8年 工費27,000円

そういう生徒は多くはなかったと思う。一商の剣道師範は岩瀬先生で、もう五十歳を超えていたような気がする。わたしは、小学校六年のときに、品川区の学童剣道大会に、他の二人といっしょに出場した。トーナメントの団体戦だったが、優勝はできなかったとしても、三回戦まで進んだことは確かである。だから、

はじめて竹刀を持つような同級生相手では楽勝だった。

学校には剣道柔道の双方とも立派な道場があった。一度、何かの事情で一年生のときに二年生との合併授業になった。

岩瀬先生は、一年生の背の低い生徒からの勝ち抜き戦をはじめた。五十人の級友のうちわたしは三十七番だった。背の高い方から三十七人目ということである。わたしは三十八番だったかそれ以前か、ともかく立合うことになった相手にあっさり勝ち、あとは三十六番目三十五番目、そして最後の一番背の高い相川(という名だったと思う)まで二十分もたないうちに勝ちぬいた。

合併授業なので二時間の時間ごとであった。前半は一年生に、後半は二年生にその形式の試合をさせ、生徒たちはそれを見学していた。一分戦って勝負のつかないときは引分けとし、次の二名で再開する。全体として、五十分あれば一年は終り、後半は二年に移るつもりだったらしいが、わたしが三十七人抜きをしても、まだ十分以上も残っていた。岩瀬先生はびっくりしたようだったが、小学校で三年間みっちり鍛えられたことを聞くと、

「では、二年生と試合を続けてみるか」といった。

同級生と違い、二年生は、すでに一年半以上も練習しているから、それほど容易ではないだろうが、わたしは、簡単には負けない自信があった。だが、ここまでやれて充分です、と答えた。

翌日だったか翌週だったか、四年生の赤尾という上級生から呼び出された。

当時の一商は、縦割りの「学団」制があった。各学年の一组が第一学団、以下七組まであって、一年二組のわたしは第二学団の一員となる。そして五年生の学団長が何かのときに指揮をとり、各学年にも副団長が指導に当たった。五年生の学団長は溝呂木商太郎さん(現在弁護士)で、一年担当の副団長は西潟さんという人だった。溝呂木さんは初段の免許をあてえられていたが、一年下の赤尾さんは一商剣道部の次期主将の予定で、四月に五年生になれば二段に昇段するという話だった。

十六、七歳で二段というのは、かなりの腕前なのである。そして赤尾さんは、「岩瀬先生から聞いた。剣道部に入れよ」

と勧誘した。むしろ命令に近かった。実は、その前にわたしは陸軍幼年学校の試験を受けて不合格だった。日本陸軍は明治の初期から士官養成の学校を作った。また、それに付属する下部の学校として幼年学校を創設した。原則として、陸軍士官学校は旧制中学の四年終了か五年卒業の生徒を試験によって入学させ、三年の予科さらに三年の本科を卒業したものが陸軍少尉に任官した。また幼年学校は士官学校の下部学校といつてよく、中学一年ないし二年終了のものを試験で選抜して三年間の教育をほどこし、卒業できたものは無条件で陸軍士官学校(陸士)へ進める仕組みである。そのとき、中学四年ないし五年から入学してきたものといっしょになるが、すでに幼年学校で三年間の軍事教育と訓練を受けてきた生徒が有利であることはいまでもない。

幼年学校は北から仙台、東京、名古屋、大阪、広島、熊本と六校あり、一年生四組各組五十名。六校合計で千二百名である。また、中学から士官学校へ入る生徒数も同数だったから、一年生二千四百名。卒業生は順位十番のものまで天皇から軍刀を授与された。

十名のうち九名はつねに幼年学校から入ったものによって占められた。本当は全員ということが多いが、それでは中四終了と中卒のものが落胆するだろうというので、一人だけ加えたとする説もある。海軍も同じようなものだった。幼年学校に相当する予科兵学校が太平洋戦争末期にできたものの、それ以前は広島県江田島の海軍兵学校(海兵)で士官を養成した。

わたしが一商一年のときに陸軍幼年学校(略称陸幼)の試験を受けたのは、成年に達すれば軍隊に入るしかないのであれば、早くに陸軍に入る方がいいと思っただけである。同時に苦手の商業科目と縁が切れるからでもあった。試験は九月だったか十月だったか、身体検査に合格したものが学科試験を受けることができる。試験場は世田谷のどこの学校だった。日曜日一日で、科目は、国語、漢文、英語、数学、理科だったと思う。

試験場を出たとき、わたしは不合格を自覚した。数学と理科の問題に全く歯が立たなかった。当然である。簿記、算盤などの商業科目のために、普通中学なみの数学や理科の時間がとれないわけだから、勝負にならないのだ。

もちろん、他の受験生も全員不合格である。すると、溝呂木さんがクラスメイトで海兵合格した山田さんを紹介してくれ

た。三月の卒業まで、放課後に数学の特訓をしてくれるという。海兵も陸士と同じく学科試験は難しいことで有名だった。今でも覚えているのは、方程式を使って解く問題を出されたとき方程式の使い方の方のわからなかったわたしが別のやり方で答を出すと、

「正解は合っているな。方程式を使って間違った答を出すよりずっといい。方程式を使えという課題に背いていても、これでいいよ」

と励ましてくれたことだ。山田さんの卒業まで、他の不合格組数はやめてしまったが、わたしは放課後山田特訓を受けた。それ故に赤尾さんの剣道部への勧誘をことわるしかなかったのだ。

山田さんは海兵に入った年の七月に休暇で戻ってくると、制服姿で現われた。純白の制服に海軍士官用の短剣を腰に吊っている。

「数学、やっているかい？」

「やっています」

「頑張れよ」

人と人との縁とは不思議なもので、山田さんにはそれ以後にお目にかかっていないが、溝呂木さんとは戦後東海道線の列車の中であたり会った。その話はあとにするが、その夏つまり昭和十九年の夏休みの一ヵ月半くらい、それ以前もそれ以後もあんなに勉強したことはなかった。

小学校の同級生で八中(小山台)へ進んだ岸本君は、実は一年生で合格していた。彼は実兄がすでに陸軍士官学校に入っていた。わたしに陸軍から合格通知の

電報がきたのは昭和二十年二月だった。同じころパイロットと結婚した二番目の姉が、一女を出産して間もなく、パイロットが華南上空で戦死して、幼児とともに実家であるわが家に戻ってきていたが、結核で亡くなった。葉はなく、安静にして滋養のある食事をするのが唯一の治療法とされていたが、すでに米軍のB29による爆撃が激化していて、安静にするどころではなかったのだ。庭に掘った防空壕に入る力もなかった。

三月中旬に、東京陸軍幼年学校に入っている岸本君から春休みで自宅に戻る旨の連絡があり、わたしは彼の家を訪れた。驚いたことに士官学校を卒業して陸軍少尉に任官したばかりの彼の兄がやはり戻ってきていた。岸本君の話では、どの戦場へ行くかは判っていて、両親にそれとなく別れを告げにきたというのだ。彼の兄はわたしの合格を知ると、
「よし、頑張るんだぞ」といった。

あとで聞いたことだが、彼の兄はそのまま沖繩へ行き、米軍の上陸した一週間後に戦死した。

ほぼそのころ、わたしは五反田駅のプラットホームで小学校の同級生だったK君にばったり会った。彼の家は廃品回収業で、小学生のときから父親の手伝いをしていた。小柄だが、運動神経がすぐれていて、運動会の徒競走ではつねにトップだった。また子供同士の相撲も強かった。しかし、学業成績はよくなかった。小学生でも、帰宅すると、回収してきた廃品整理の手伝いをしなければならぬ。予習復習の時間などなかったのだ。

卒業して二年経っていた。彼の顔色はすぐれなかった。各家庭の食料は配給制になっていたが、期日通りには配給されなかったし、米の代りに大豆(大豆)が代用食の名目で配給された。

わたしたちは二言三言ありきたりの会話をかわした。共通の話題はさほどなかったが、わたしは、四月から陸軍の学校へ行くことになったといった。事実かどうかは不明だが、幼年学校の試験に合格するのは百人に一人だといわれていた。合格できるのは千二百人で、受験するのは全国の中学一、二生の軍人志望者である。合わせて十二万人いれば百倍になる。当然とさえいえずとも遠からずの倍率だったろうが、それを突破した喜びもあって、そのことを口にしたのだ。もしかすると、おめでととか凄いなとかの言葉を心の中に期待していたかもしれない。するとKは
「チエツ、世の中つてのは不公平にできてらア」

それだけというと彼は背を向けて去って行った。彼は中学へ行きたくても行けなかったのだ。海野先生は依怙(いご)最(さい)願(ねん)の強い人だったから、Kは小学校にはいい思い出などなかったに違いない。

わたしはその後姿を呆然と見送った。わたしの人生において最初に衝撃を受けた瞬間だった。

普通科ではなく商業科コースに行かされたことに不満を抱いていたが、Kにいわせれば、およそ贅(ぜい)沢(たく)な不満ということになるだろう。それはともかく、終業式の日わたしは退学届を出して鉢山を去った。

◆戦争を挟んで

昭和二十年三月二十九日の夜、わたしは父親といっしょに夜行列車で品川駅を発ち、翌朝七時前に名古屋駅に到着した。当時の陸軍幼年学校は全国に六校あって、わたしが入校を指示されたのは名古屋であった。東京在住だから東京陸軍幼年学校に入るとは限らなかった。全国から合格した生徒を適当に六校に分けるのである。入校してからわかったことだが、クラス五十名のうち東京と関東地方から十数名が名古屋に回されたし、名古屋周辺地区の中学出身は半分もいなかった。

名古屋駅の待合室で、わたしと父親が、母のつくった「お握り弁当」を食べはじめると、震災を受けたとわかる焼けこげの服をきた人が近寄ってきた。そして無言で頭を下げるのである。父親は二個のうち的一個をその人に渡した。名古屋近郊には航空機メーカーの本社があったから米空軍の空爆にやられていたのだが、東京も三月十日にB29爆撃機によって、多くの犠牲者を出していた。翌朝、渋谷駅から鉢山まで登校したとき、ボロボロのようになった何人かの被災者が道わきに腰を下ろしているのを見た。

偵察が目的のB29が東京の上空に出現したのは前年の十一月一日だった。晴れた日で銀色の機体がキラキラ輝いていた。空襲警報は発令されていたのだが、一機だけだったから、防空壕に入らず見上げる人が多かった。わたしもその一人だった。当時小学校五年生の弟は学童疎開で奥多摩の寺に移っていた。あとで聞

いた話だが、給食がおよそ不十分で空腹のあまりトンボを食べてみた。イナゴの佃煮(てんじゆ)がおいしいのだから、もしかするとトンボもおいしいのではないか、と思ったらしい。

「食べられたものではなかった」

といっていた。また、翌年四月に東條英機元首相がとつぜん視察にやってきた。弟は頭を撫でられ、小国民も頑張るんだぞ、といわれたそうである。わたしたちは



東條英機

二年生の春に三多摩鶴川村の農作業に勤労奉仕の名目で動員された。田んぼを鍬(くわ)で掘り起こしたが、正直にいつて、本当に手助けになったかどうか、わからない。のちに作家になってから執筆した作品「興亡と夢」(全五巻・集英社文庫)の取材で知ったことだが、太平洋戦争終結の昭和二十年八月時点で陸海軍に服務中の人員は、日本内地で約二百五十万名、外地で軍属を含めて約三百五十万名、民間人約三百三十万名だった。合計九百三十万名で、これに日中戦争からの死者約三百万人を加えれば、千二百二十万名(主として男子)が農村でも工場でも働き手として欠落したわけだから、中学低学年の生徒が動員されたのも不思議はなかったのだ。

わたしたちよりも一学年上の生徒たちは、昭和十九年秋から軍需工場の作業に駆り出されたし、わたしと同年の級友たちも、三年生になった昭和二十年四月から、主として川崎市の工場で働いたという。不運にも旋盤にゆびを切断された

生徒も出た、とあとで聞いた。二十世紀の戦争は総力戦であり、前線も銃後も差はない、というが正しくその通りだった。品川・御殿山にあったわたしの家も、五月二十九日に全焼した。わたしは名古屋陸軍幼年学校(名幼)に入っていたから、実状は知らない。しかし母親の話では「焦熱地獄」は仏教の言葉だが、本当にそれがあるのだと知らされたという。

わたしは三月三十日の午前九時に、愛知県東春日井郡篠岡村(当時)にある名幼に他の新入生とともに出頭し、簡単な身体検査のあと、それまで着ていた服などを父親に渡して校庭で別れた。そのとき父親は、健康に留意してしっかりやるように、といった。今にして思えば、ほかに言いようもなかっただろうと思う。わたし自身は、もしかすると今生の別れになるかもしれない、と心の中では思っていた。

敵の爆撃機が三日に一回は本土上空に飛来してきて、各地に爆弾を投下しているのだが、それを迎え撃つわが軍の戦闘機は、どう見ても不足だった。すでに神風特別攻撃は開始されていて、そのたびに大本営発表は大戦果を挙げたというが、それにしては敵の空爆がいつこうに減ってこないのは、いや、むしろふえてくるのは、中学生の頭で考えても(変だな)という気になるのだ。サイパン島が奪われ、硫黄島が玉砕した。それは公表されていた。いずれ本土のどこかに米軍が上陸してくることは誰にだって予測できる。そうなれば、陸幼の生徒は軍人である以上、戦闘部隊に編入されて最前線で闘うことになる。

わたしたちは陸幼第四十九期生だった。名幼の二代校長は日露戦争で活躍戦死した橋岡太少佐だった。「遼陽城頭夜は更けて」の軍歌になっていたし、最初にアリュエーシャン列島のアツツ島で玉砕した山崎保代大佐(二階級特進して中将になる)も名幼出身であることは、入校してすぐの訓話で教えられた。

この文章は、タイトルの通り、一商時代の回想を主とするものであって、陸軍の士官養成を目的とする学校の生活は、本来ならば記述する必要はないかもしれない。また、わたしの陸幼生活は八月二十八日に終わっているのだが、一商の歴史を通じて、わたしと同様の体験をした人は、ほかに一人だけだと思うので、少しは書きとめておきたい。ほかに一人というのは、一年上に在学した「明石」さんという生徒が昭和十九年に東京陸軍幼年学校に入ったことはわかっているが、戦争が終わったあとは一商に戻っていない。従って、卒業生としてはおそろくわたし一人だろうと思う。

では、陸幼生徒の日常はどういうものだったか、というと、基本的には六時起床十時就寝である。全て起床ラッパ就寝ラッパに従う。ふだんは七時朝食、八時から十二時まで学科、昼食後十三時から十六時まで術科(兵技訓練および体育)十八時まで自由時間、夕食後十九時から二十一時まで自習、そのあと一時間の上級生による指導。二百名の一年生は四組に分かれ、(名称は訓育班、さらに十名単位で寝室にベッドを並べて眠る)、各訓育班には各一名の生徒監がいて指導に当たった。従って四名の生徒監がいたわけ

で、全員、陸幼、陸士卒業の現役大尉だった。わたしの第三訓育班の生徒監は馬来祥介大尉で、のちに航空自衛隊の幹部になった。

ただし、入校一ヵ月後の四月末には、馬来生徒監を除いて他の三名の大尉は全て部隊に転出した。米軍の上陸に備えて編成された部隊の指揮官となったのである。代りに三名の中尉が赴任してきたが、陸士卒業ではない士官たちである。つまり、幹部候補生という仕組があつて、兵卒で入隊してきた学生出身者を試験で選抜、短期訓練実習で少尉にするのだ。実はわたしの兄も昭和十五年十二月に召集令状がきて最下位の二等兵で入営した。すぐに中国戦線に送られたが、翌年には幹部試験に合格し、満州にあつた予備士官学校に入つて一年半後には少尉に任官した。おかしなことに、いや、典型的な官僚組織である陸軍では当然らしいが、陸士卒の少尉は一年で中尉に進級するのに、幹部出身は二年かかるのだった。陸士卒は「現役」士官だが、幹部出は「予備役」少尉なのである。要するに陸幼、陸士、陸軍大学を出たものだけが陸軍の中枢を占める仕組なのだ。

また、陸幼生徒の日常や考え方については加賀乙彦氏の作品「帰らざる夏」に描写がある。これも作家になってわかったことだが、氏は名幼四十七期、つまり二年上に在学していたわけである。ほかに西村京太郎氏がわたしと同じ四十九期生で東京の陸幼に在学していた。

もっとも記憶に残っていることがある。敗戦で学校も解散になるとわかってから、馬来生徒監が訓話をした。そして

最後に、

「この次に戦争が起こるときは、たとえばワシントンでボタンを押すと、東京とかベルリンとかが吹っ飛ぶことになる。逆に東京で押すとワシントンやロンドンが吹っ飛ぶというような戦争になるぞ」

といった。わたしたちには、その話を信ずることができなかった。生徒舎という建物の掲示板に地元の「中部日本新聞」が張り出してあり、それに「広島に新型爆弾」の記事は出ていたが、二十万人以上の犠牲者を出した原子爆弾であるとは書かれていなかった。馬来生徒監は七月に陸軍大学に合格しており少佐に進級していた。十数年後に実用化した大陸間弾道弾に原爆を積めば、都市が吹っ飛ぶであろうことを予知していたことになる。陸大に合格するようなエリートは、名古屋にいても、恐るべき新しい兵器についての知識を持っていたわけである。

不思議なこともあった。帰郷後にわたしは陸幼の同期生の何人かと手紙のやりとりをしたが、それも五年、十年と経つとやはり間遠になった。ところが、ある日、わたしが今も住んでいるところに一連の郵便物が配達された。開封してびっくりした。昭和二十年八月に全国に六校あつた陸幼の在校生全員の氏名住所現職の名簿だったのである。一校六百名だから三千六百名である。氏名には欠落はないが、住所や現職は不明になっているものがあつたのは当然だとしても、それはごく少数である。また死亡したものもそれが記載されている。わたしは自分がどう出ているかページをめくってみた。住

所氏名そして筆名著述業とちゃんと正確である。わたしは名幼の同期生とはほとんど連絡しなくなっていた。ただ一人、同寝室だったI君とは、住所は知らないが、勤め先の商社は知っていた。わたしの横浜高商(現、横浜国立大学経済学部)の同期生で親しくしていたK君が同じ商社に入っていたからである。K君も実は終戦時に熊本陸軍幼年学校に在籍していた四十九期生だったのだ。I君とK君とはいっしょに銀座のバーで飲んだことはあった。この名簿の作成者はかれらからわたしのことを聞いたのか、と考えたが、少なくともK君は自分のところにも届いたので、不思議に思っていた、というのである。陸軍には、陸士卒業の士官たちを中心とする親睦組織の偕行社があった。生死を共にしようという名称である。マッカーサーが乗り込んで来たときは、日本軍国主義の復活を許さない方針で解散命令が出されたが、独立を回復してからは軍人恩給復活その他の活動で、復活したと聞いている。

そのあと、名幼卒業生名簿という小冊子も送られてきた。みると、一期生には乃木保典の名がある。乃木將軍の長男で、日露戦争では弟の勝典と共に戦死した。

三期生には大杉栄(無政府主義者で関東大震災のときに甘粕正彦憲兵大尉に暗殺された)、そして四期生に下村定(最後の陸軍大臣)、五期生に中村彝(洋画家でロシア詩人エロシエンコの肖像は有名。彼の二歳上の中村中は大杉と同期)、八期生に岸田国士(劇作家)、そして九期生には甘粕がいるのだ。さらに二十期

に辻政信(大本営参謀で、戦後国会議員になったが、ラオスで行方不明になった)の名前がある。

実は、大杉は三年生のときに退校処分になっていた。彼の父は陸士出身、日清戦争では金鷄勳章を受けたエリート士官で、大杉は子供のころは自分の写真に「未来の陸軍元帥」と書いたという。だが、三年生のときに仲の悪い生徒と決闘をしたので、両者とも処分された。

以上のエピソードは、全てわたしが作品の中で取り上げたから知ったわけだが、名簿には名前だけである。わたしがいいたいのは、明治六年に山県有朋が主体になって組織した陸軍という組織の、目に見えない大きな力とその影があるということなのだ。いったい誰が多額の費用を出したのか、わからないのである。

廃校になって各人が自宅に向うとき、生徒全員に新しいノート十冊、夏用の軍服、作業用シャツのはかに精米と大豆各五升が背のうととともに支給された。略帽という、俗にいう戦闘帽も、星のマークを除けば使えるので、私物の辞書、筆記用具といっしょに詰め込んだ。そのほか、各人の自宅までの国鉄の切符優先購入証明書も渡された。当時はそれがないと遠距離の切符は買えなかったのだ。

わたしの両親と姉は御殿山で戦災にあったので知人の紹介で、神奈川県足柄下郡吉浜町に疎開していた。現在は湯河原に合併されているが、駅は「真鶴」で降り、歩いて二十分はかかる。姉は女学校を出たあと海軍省に就職していたが、通勤不可能になったので退職して家にいた。また、弟は、一家が吉浜に落ち着いたから

疎開先を引き揚げて、吉浜小学校に通学していた。ただ中国戦線の兄の消息はつかめない。

わたしが内心では覚悟していたように、両親とも本土が戦場になるときの事態を考えていた。従ってなにはともあれ、戦争が終ったことでほっとしたのは確かにある。

吉浜の家の前の道路は石垣になっていた、それを板梯子でおけると砂浜が左右にひろがる。沖には初島があり、はるか彼方には大島が見えた。目の前の相模湾は春でもないのに、日ねもすのたりのたりにかな、である。はじめのうちは、寝ていても、一晩じゅう車が往来する音が聞こえてたように感じたが、その波の音だったのだ。

一週間ほどたつてから、わたしは名古屋を出るときに渡された教育総監発行の各地の公立中学校長あての文書を持って、一番近い県立小田原中学校へ行った。文部省との協定によって、学年に相応するクラスに編入してくれるように、という依頼状である。中一終了で陸幼に入ったものは中二に、中二終了のものは中三に入れるはずだった。

わたしに会ってくれたのは、教頭先生だったと記憶する。名幼の同期生に小田原中学からきた杉本という生徒がいたので、彼の名前を出すと、先生はうなずき、「実は彼だけではなくて、幼年学校に入ったもの、海軍の予科練へ行ったものたちがみんな復員してきて、もう他校の生徒を受け入れる余裕がなくなっているんだが、きみはどここの学校から幼年学校に入ったのかね?」

「都立第一商業です」
「場所はどこ?」
「渋谷です」
「じゃ、そこへ行きなさい。わが校は全く余裕がないから」



一商旧校舎

それ以上はいくら頼んでも無駄だったから吉浜に戻った。母親は、仕方ないわね、といった。父親は東京の勤め先に通っていたから、戻るのは九時ごろである。

吉浜は半農半漁の町だった。ただし、農の方はすぐに山が迫ってきている地形なので、米作ではなく、みかんと野菜である。漁の方は、隣の福浦という漁港に船を置き、あとは地曳き網であるが、その漁獲量は大したことはない。それでも、みかん畑よりも収入になるらしい。
わたしは、しばらく何もせずに海で泳いだり、磯釣りをしたりで、のらくらら過ごした。都立一商へ復学できるとしても、通学するのは無理だろうと思った。列車

●一商同窓会の活動は皆様の年会費と賛助会費で運営されております。

● 都立一商同窓会 <http://www.issou.jp/> 検索

の時刻表を調べると、上りの一番列車は午前五時熱海発、同十九分真鶴発の東京行きが七時十九分に品川着になる。渋谷までは山手線でたぶん七時四十五分に着くから八時の授業開始に何とか間に合う。ただし戦後の混乱で列車が定刻に運行されないことはわかっていった。

それに通学のための定期券の料金もバカにならない。

(漁師でもやろうかな)

とわたしは漠然と考えていた。ひどい食糧難で、母親はわたしの米と大豆をあげたが、そんなものは一家五人で三日も保たない。漁師の手伝いをすれば、魚を貰えるから乏しい食糧の足しになるはずである。だが、半農半漁の町に東京からやってきた一家は、ある意味では町にとって厄介者である。山へ行って、落ちていく枯葉を燃料用に拾い集めてくるときも、隣組の会長の許可が必要だった。また小型の漁船は櫓をこぐ方式だから、都会育ちには手に負えない。

ブラブラしているうちに九月下旬になったある日曜日。父親から学校はどうする気かと聞かれた。むろん小田原中学の結果は知っているのだ。わたしが、東京へ通学するのは大変だから漁師の手伝いでもしようかと思っている、と答えると、日ごろは怒ったことのない父親が「バカいうな！」と大声を發した。父親は山口市の商家の末っ子に生れたが、県立中学一年のときに一家の中心の父(わたしには祖父)が急死し、家業も傾いたために、退学して働きに出た。そして兵隊三年のあと、宇部市の郊外の農家の末娘である母と見合い結婚し、大正十年に上京して

きたが、学歴がないために苦労した。子どもには、その思いをさせたくないから、どんなに苦しくとも本人に能力があれば学校へ行かせてきた。東京へ通学するのは大変だというのが、何が大変なのか、通学の交通費のことをいうのか、余計な心配をするもんじゃありません。

何しろ六十五年前のことだから、くわしいことは覚えていないが、一商がどうなっているかはわからず、ともかく行ってみることにした。

三階建ての校舎はなく、校門と覚しきところに立札があつて、猿樂小学校が連絡先である旨の掲示があつた。実はそのあとの経過については明確な記憶はなく、この文章のために旧友に会つたり電話したりしたのだが、人によっては話が違ふのである。

◆一商で学んだこと

これまで書いてきたこのを読み返して感ずることがある。それは年月の重みである。一九四五年の出来ごとは、前世紀の半ばよりもやや遠い昔の話になるのだ。日本史でいえば、徳川幕府が鳥羽伏見の戦で薩長連合軍に負け、江戸城を明け渡したのは一八六八年の四月、元号でいうと、秋には明治と改元されるが、その時点では慶応四年だった。そして六十五年後は、一九三三年昭和八年なのである。その時八十歳になっている人の生れは、一八五三年嘉永六年生れということになる。その年に何があつたかというところ、六月三日にペリー艦隊が浦賀に来航したのだ。昭和八年に八十歳になっている老人にとっては、十代のころの江戸開城は

驚天動地の事件だったにしても、はるか遠い昔のことになるだろう。その間に明治の四十五年間、大正の十五年間、そして昭和の数年間が入ってくる。江戸開城も忘却の彼方であろう。

実は六十五年前のわたしは日記をつけていた。陸幼では日記をつけるのは義務だった。それが自宅に戻ってからも習性化していたから、学校解散のときに支給された大学ノートに、多い日も短い日もあるが、ともかく書いていた。そして、これも習慣だが、文語体を用いていた。

一商四年生の夏休みだった。担任の鈴木清一先生から少くとも一ヶ月分の日記を書いて提出するように、という宿題が出されたのだが、八月三十一日の夜になって、それを思い出した。もう一か月分を書き写す余裕はない。止むを得ず、つけていた大学ノートを切り取って提出した。文語体だからこんな調子になる。

「母の指示を受け、通学定期券を利用して朝から藤沢、大船各駅の不動産屋へ行き、空家状況を調査したるが、目星しき物件なし。帰宅後夕食までの時間、磯釣りを試みるも、食用に適せざる青タボ二尾のみ。残念なり」

提出後に鈴木先生の講評つきで戻ってきたが、その短評の「文語体日記は珍しきものにて、小品の佳境なるを覚ゆ」というのを記憶している。原物は何回かの引越して紛失したが、この小品の佳境という清本先生の評語はとて心に残ったのだ。

一商に復学したのは昭和二十年の十月ごろだが、わたしの記憶では、一学年七組だったクラス編成が五組に減つてい

た。二年生の担任だった広岡九一先生に会い、念のために陸軍の発行した公立中学校あての手紙を添えて復学願を出した。その場で許可になったが、この文章のために同期生で横浜高商(現横浜国立大学経済学部)もいっしょだった清水節男君に聞くと、彼は五月ごろの大空襲のあと両親の郷里の長野県松本に疎開し、現地の中学に転入した。戦争が終るとやはり十月ごろに東京に戻って復学願を出した。ところが、久我先生(英語担任)が長野の方は私立校だから公立の一商に転入するのは、前に在校していたにせよ難しい、といわれたそうである。だが、清水君がそこを何とか……と懇請すると、久我先生が英語の問題を出して解答を求めた。つまり学力テストである。やさしい問題だったのでその場で解答したら、よからう、といって復学を認めてくれたそうである。また、清水君は、バラック建ての校舎が鉢山に完成するまでは猿樂小学校で授業を受けたし、代々木上原小学校は知らない、という。その点は、四年から卒業するまでの二年間にもっとも親しくつきあひ、生涯の友となつた川島信録君も、代々木上原へ通学したことはない、というのだ。

前号で書いたように、わたしは吉浜町(現湯河原市)から通学した。午前四時半に起きて朝食をとり、遅くとも午前五時に家を出て真鶴駅へ行く。そして五時



広岡九一先生

●一商同窓会の活動は皆様の年会費と賛助会費で運営されております。

● 都立一商同窓会 <http://www.issou.jp/>

検索

十九分発に乗って品川まで、さらに山手線で渋谷まで行く。そこから代々木上原小学校まで、急ぎ足でも二十五分はかかった。新宿まで行って私鉄に乗りかえても時間は変わらない。

小学校も生徒が減っていたから、戦災を免れたところは、焼けた公立中学校に教室を貸与できたのである。七組が五組に減っていたのも戦災のためで、わたしの小学校の同級だった海野君は、やはり疎開で水戸へ移っていた。

わたしは、授業開始の一時間目は必ず遅刻した。時刻表では品川着七時十九分のはずだったが毎日少なくとも十分、時には二十分遅れた。がらがらだった座席は小田原でうまり、平塚を過ぎて、茅ヶ崎、辻堂、藤沢にくると、もう通常の乗降口は乗客でいっぱいになる。すると藤沢から乗る人は、ホームに面した窓を明けてくれといひ、そこから乗ってくるのだ。帰りはその逆である。わたしは品川から乗るのだが、ふつうに授業を終えて帰宅する場合は四時ごろに乗るから乗れるが、何かで遅くなり、五時半になると、連結機の上にかろうじて乗れたというところもあった。雪の日にガタンとひどく揺れたとき、駅に接近してスピードが落ちていたのが幸運だったが、連結機の上から落ちた。頭の上を車体が重々しく通過するのがわかるから、雪の上に伏せたまま頭を上げないようにした。で、傷一つ負わずにすんだが、帰宅後にそれ聞いた母親は次の日わたしに学校を休ませた。ゲンをかついで大事をとったのである。

そういう状況での通学中に、一年生の

ときの学団長だった溝呂木先輩に車中であつたり出会った。茅ヶ崎に疎開しており、旧制の成蹊高校(現成蹊大学)に通学していたのだ。商業科の中学から旧制高校へ進学する例は多くないと思うが、溝呂木さんは高校を出ると東大法学部へ進み、現在は弁護士である。いまの三年制の高校と違い、旧制の五年制中学のころ一商特有の学団制は先輩後輩の人間関係を濃密なものがあつたのだ。

それで想い出すのは、わたしの出た御殿山小学校の先輩の朝妻さんのことである。五反田から乗るので声をかけられたのだが、第七学団の学団長だった。戦後わたしは四年生になって組替えがあつたとき、同じ二組になった川島信録君は入学時は七組だったので、朝妻さんから教えられた仲だった。その朝妻さんが渋谷東宝に勤務しているから、顔パスで入れるといのである。川島君と親しくなつたのは、わたしにはどうも苦手だった幾何の難問をいとも簡単に解くので、教えてもらったのだ。彼はまた軟式野球の三塁手で、遊撃の伊藤君とのコンビはともよかつた。ほかに記憶しているのは投手の深尾君、捕手の今泉君である。都大会でいいところまで勝ち進んだことがあつたが、長身の深尾投手の球は速いのにコントロールに問題があつた。わたしは野球部には入らなかつたし、広岡先生の指導しているグリーククラブの須佐一政君や行永勝君から、わたしの持ち前の美声(?)をほめられて入部を誘われたこともあつた。須佐君はのちに「音楽の友社」に入り、最終的には役員になつたと思うが、お母さん孝行の男だった。わたしは

どのクラブにも入らなかつた。

要するに、わたしは帰宅にも約三時間かかるので、その種の生徒活動はやりたくてもできなかった。ただ、土曜日の午後は補習がなければ時間はあつたから、朝妻先輩にお願いできたわけである。それ以外にも、川島君の奢りで松竹の地下一階にあつた銀座屋で洋画を見た。今でも印象に残っているのはデートリッチ主演の「モロッコ」と「砂塵」である。後者は西部劇で相手役の若きジェームス・スチュワートの方が得をしているが、ゲイリー・クーパーと共演した「モロッコ」は彼女の代表作である。外人部隊相手のキャバレーの歌姫を演じたのだが、その何気ないしぐさからも滲出する倦怠と成熟の魅力は十代半ばのわたしにも伝つてきた。よく覚えているのは、クーパーが自分よりも心の優しい富豪の方が彼女を幸せにするはずだと思ひ、壁にかかつた鏡に彼女の口紅が「I changed my mind」(気が変わった)と書くシーンである。そうか、英語ではこういう言い方をするのか、と合点したものである。

英語で想いだすのは市川先生のことである。それまでの授業ではほとんど触れたことのない



市川繁治郎先生

かつたアクセントについて、会話をスムーズにするカギはアクセントである、といい、試験にもそれが出た。アメリカという単語は日本語ではアにアクセントを置く人が多いが、それではか

れらに通じない。母音は四つあるが、第二のメが大切で、極端にいうとアを抜いてメリカといえは通用すると教えられた。教師になる前は米軍相手の職場で働いたそうだが、というものもいた。五年生のときの試験で、次の英文の各単語の全てにアクセント・マークをつけよ、という問題が出た。わたしが全部終えて天井を見ていると、先生が寄つてきて答案用紙を手にとり

「ほう、全部できているな」

といつてその場で赤鉛筆で100と書いた。

わたしは長い通学時間の大半を英語の参考書をよむことに費やした。いわゆる小野圭の英文解釈と英作文が受験参考書の大ベストセラーだった。朝の早い時間で頭のスッキリしているときに読むのだから頭に入りやすかつたのである。毎朝四時半起床はつらいが、しかし四時に起きて食事を作つてくれた母親の方がもっと大変だつたらう。明治生れの母は強かつたのである。後年川島君の母上とわたしのおふくろは共に明治生れで、親のいうことをきかないお互いの親不孝息子のこと得意気投合し、互いに慰めあつたらかつた。

わたしの毎朝の遅刻は東京、川崎、横浜などが大空襲を蒙つた戦争に起因するわけで、広岡先生の事前の釈明のおかげで、一時間目の先生たちから文句をいわれることはなかつたが、授業が核心にさしかかる十五分か二十分すぎに、ドアの音を立てて遅刻の生徒が入ってくるのだから不快に思われたのは当然である。大きな声でいうのも変だから、いつも小声

で「すみません」と頭を下げていたが、その苦行も四年生の第一学期で終わった。日記のことで書いたように、夏休みに入ると、わたしは大船から鎌倉の方に入り、不動産屋をたずね回った。平塚付近も捜したが、戦争で焼けた土地だから空き家などはなかった。東京や横浜はさらになかった。御殿山の家は借家だったが、いつの間にか隣家の塀があたり一帯の焼土地域をそっくり呑みこんでいた。借地権はあるのだが、その権利は無視されていた。法律的には回復する手段はあったはずだが、サラリーマンの父親には時間的余裕もなかった。

昭和二十一年の春に中国戦線にいた兄が帰国してきた。出征前に勤めていた三菱重工業は占領軍の命令で解体されており、兄は学校のゼミの先生の紹介で横浜の小さな建設会社に入った。弟は県立小田原中学に入ったから、通うには、父、兄、わたしを含めて大船、鎌倉あたりであれば、四人全員の都合がいいのである。わたしは弁当を作ってもらい、毎日のように六人家族が住める空き家を探して歩いた。

それ以前、早朝の真鶴駅で顔を合せていた二人の中学生があった。共に一学年上で一人は予科練帰りで成城中の西角善勝君、もう一人は青山学院の池川哲郎君である。西角君は東京駅まで行き、池川君は新橋で地下鉄に乗り換える。日曜日には三人で釣りに行ったが、西角君は二十一年三月に三島の日大予科に合格し、池川君も東京の戦災した土地にバラック建てながら新居が完成するので、三人組は終わりになった。西角君は日大

を出た後自衛隊ができると、空自に入った。六十年安保騒動のころに新橋駅で偶然に出会い、今どうしているかをたずねると、そぐざに答えた。

「小松(基地)でね、戦闘機に乗っているんだ」小声だが、弾んだその口調にわたしは、冬の早朝に航空隊専用の白いマフラーを首に巻いていた十数年前の彼を思い出した。思想の問題ではなく、空を飛ぶ夢を果したことを祝ったのだ。

住宅捜しに話を戻すと、わたしは鎌倉の不動産屋で、八帖六帖二帖台所兼用の土間、井戸のある小さな庭つきの売り家を見つけて母親に報告した。場所は浄明寺で、駅から徒歩二十五分、朝夕にバスも出ている。翌日、母親といっしょに不動産屋に案内されて現場を見たが、女性二人が住んでいる。端的に言えば、米軍の彼女たちだった。鉢合せしても米兵たちは全く平気だったらしい。問題はいつまで彼女たちが転居するか、である。わたしたちが駅前に戻って待っていると、話をつけてきたという不動産屋が帰ってきて、七月末日までに空けることに決定したから八月一日の引越でよい、という。結果をいうと彼女たちの約束は空手形だったのだ。荷物をトラックに積んで吉浜からやってきたら、彼女たちは引越せずに居住権を主張した。

裁判で決着がつくまで八ヶ月かかり、その間わたしたちは不動産屋の娘さんが、子供二人と、シベリアに抑留されている主人を待っている小町通りにあった家の二部屋に住まわせてもらい、浄明寺によく移った。わたしは一商の五年生になっていた。

その前、四年生の三学期にわたしは旧制一高の入試を受けた。戦前は中学四年終了で旧制の高校や大学予科を受験できるのは、普通科の中学校生徒に限られていた。校名でいうと、たとえば八中の生徒は四年終了で受験できないのに、一商の生徒は五年終了つまり卒業しないと受けられなかった。また一商の卒業は前年の十二月だった。文部省は商業科や工業科の生徒を不当に差別したのである。だが、戦時中は一年繰り上げで、四年卒業になった。兵士にするため、右のような差別を撤廃せざるを得なかったわけだった。わたしの記憶では昭和十九年二月に講堂わきの掲示板に上級学校合格者の氏名が出たことがあり、その中に高野という人が一高に合格していた。一高は難関中の難関であった。

いぜんとして簿記の授業に苦勞していたわたしは、それから脱出するには一高か商大(一橋大学)予科に入るか、私立大学予科に入るしかなかった。同級生に一人だけ立教大学予科に合格して転校した生徒がいた。わたしの場合は国公立のみである。商大に入ったのではまた簿記がある以上、道は一高だけだった。わたしは文科を受けるので、カギは英語だろうと見当をつけていた。また、数学もあつたような気がするが、陸幼と同じで商業科の四年終了の学力では無理だと承知していた。英語の場合はもっと難しいことは受験用問題集でわかっていた。つまり一度目は度胸試しのつもりだった。果たして最初の科目の英語で、和訳の問題は満点ではないとしても答えを書けたが、作文の問題を見て、絶望的になった。

今でも忘れないが、冒頭に、「日の下に新しきものなし」という諺がある。しかし……」

とあつて、それを目にしたわたしの頭はすっかり混乱してしまった。直訳するのとは知らなかったし、もし聖書にあるならば独特の表現が用いられているはずである。そんなことを考えているうちに時間がなくなり、諦めて直訳ですませたが、試合開始早々にパンチをくらった感じであった。

むろん不合格であった。翌年つまり五年生の卒業前に一高と横浜高商を受験した。当時の国立高校と専門学校は二期制だった。どちらにも合格しない場合は、私立大学の予科ややはり私立の専門学校に入るしかない。この昭和二十三年春から六三三四の新しい学制に移行することになった。五年制の中学は三年制になり、それまでの中学四年と五年は新制の高校に移る。ただし、一商の五年生はそのままだ旧制で卒業するか新制の高校に移ってあと一年教育を受け、その後は卒業して就職か新制大学に進むかである。ところが、その選択は前年十二月に決めることになっていて、一高に不合格だからといって新制の三年に転ずることは認められなかった。このやり方はそのまま上の学校にも適用され、横浜高商二年の終わりに、残る一年を旧制で進んで卒業するか新制の横浜国大の三年に移行してあと二年勉強して就職するか決定を迫られた。旧制で卒業しても就職できずに新制大学に移行したいといつても認められなかったのだ。

一商でわたしは旧制で卒業する気だった。その場合のチャンスは二回だけで、一期の一高か二期の横浜高商になるが、別に緊迫感なしに通学していた。鎌倉に移ったから毎朝の遅刻はなくなった。駅に近い小町通りに住んでいたころ日曜日の日暮れどき毛皮コートの美女が目を通った。山口淑子さんだった。後年小説家になってから参議院議員になった彼女に依頼されて、いっしょにリビアの国際会議に出たことがあった。その話をすると、中国から引き揚げてきて鎌倉の川喜多郎に身を寄せていたときだったろうという。

いま回想しても猛勉強した記憶はない。川島君は新制に残ったが、いっしょによく映画を見に行っていた。学校は二月初旬の試験で終り、卒業式までわたしは登校しなかった。試験が二回あったから最後の追い込みで参考書を読んだ。一高は失敗し、横浜には合格した。清水君、岡猛男君と原田君とわたしの四人合格である。

卒業式の日に登校すると、鈴木先生に呼び出された。こわい顔である。



鈴木清一先生

「きみはずっと欠席しとったな」わたしは頭を下げるしかなかった。受験という名目はあったが、無届欠席だったのだ。

「実はきみの成績は良かった。十三科目百三十点満点のところ百二十七点で、

一番だったぞ。学年の一番は卒業生総代にするとろだが、もう一人、三組の伊藤君(野球部)も同点だったので、どちらにするか、職員会議で話になった。総代の生徒には文部大臣賞が出るからなんだよ。個人的には担任生徒のきみになってほしかったが、伊藤君は就職するのでもうチャンスはない。しかしきみは上の学校へ行くからまだ望みはある、ということで伊藤君に決まり、きみは優等生総代ということで表彰される」

まったく予期していないことだった。もちろん不満はなかったが、念のため教えて下さいと頼んだ。十三科目のどれが悪かったのか。

「悪かったのは二科目。一つは九点だが、あとの一つが八点、それが九点ならねえ……」

その八点は簿記ですかと確かめると、やはりそうだった。しかし、それはどうでもよいことである。横浜で「会計学」の最高権威といわれた黒沢清教授から基本的に同じ学問を学んだのに、結局は身につかなかったのだ。もちろん学問を否定する気はないが、重要なことは、一商で学んだから、わたしの人生にとって大切な生涯の友を得られたことである。

◎三好徹氏略歴

(みよし・とおる 本名 河上雄三)
1931年 東京都生まれ。母校卒業後、横浜高商入学(現・横浜国立大学)。大学卒業後、読売新聞社入社。記者生活をしながら、小説家を目指す。1966年「風塵地帯」で日本推理作家協会賞、1968年「聖少女」で直木賞受賞。以後、「チエ・ゲバラ伝」ほか推理小説、スパイ小説、歴史小説など多数。近年は幕末、明治期の伝記小説が多い。日本ペンクラブ理事。元検事で弁護士の河合和雄(故人)は弟。

暮らしを彩るトールペインティング、はじめてみませんか?

白木素材に絵付けして装飾するクラフト「トールペインティング」。銀座ソレイユでは、その専門店として、筆・絵具・白木素材・デザインブックなどを扱い、カルチャースクールならびに会員制の通信販売を行っています。会員になると、定価より割引価格で商品をお買い求めいただける他、セミナーや新商品をご案内する会報誌「トールペインティングニュース」を年4回お送りいたします。東京銀座・名古屋に店舗・教室を置き、約4,000品目以上の関連アイテムを取り揃えて、皆様のお越しをお待ちいたしております。



表紙/エレナ・エルボン仁保喜恵子

■ご入会キャンペーン
第一商業同窓生
特別価格 入会金(初年度)半額

お問い合わせ
株式会社サン-ケイ 体験クラスありませ
会長 菊池敏郎(32期)
中央区銀座1-6-2 銀座Aビル2F
(さくら通り×ガス燈通り)
TEL 03-3561-6041 お客様係
03-3561-6001 (代表)



作 瀬戸山桂子

隔年開催
第17回 トールペインティング コンテスト 作品展
2015年11月5日(木)~7日(土) 10~18時(最終日16時)
銀座洋協ホール
(中央区銀座6-3-2 ギャラリーセンタービル6F)

世界のトールペインティングを日本に紹介 ショップ&セミナー 株式会社サン-ケイ(創立1979年)

●一商同窓会の活動は皆様の年会費と賛助会費で運営されております。

● 都立一商同窓会 <http://www.isshou.jp/> 検索

東京校歌祭

毎年秋に開催されております、東京校歌祭。昨年は会場工事の為、日比谷公会堂ではなく、杉並公会堂を会場として特別招待の大学を含め二十校が参加し開催されました。その初めての杉並の地に我が一商同窓生も五十余名が参加し「校歌」と「学生歌」を高らかに歌いあげました。東京校歌祭は本年も開催され一商も参加させて頂きます。真新しい施設の、広い舞台で皆で思いっきり校歌を歌ってみませんか。日程は以下のようになります。参加申込は次号イベントニュースでご案内申し上げますが、同窓生の皆さんのたくさんの参加をお待ち申し上げます。

一、東京校歌祭開催日
平成27年11月3日
(火・文化の日)
午後1時

二、会場
杉並公会堂
東京都杉並区上荻1-23-15
電話 03-3220-0401

三、懇親会(校歌祭終了後に開催)
会場 クラブイン荻窪
電話 03-33393-9191
会費 4,000円

四、練習日時

月日 10月17日(土) 午後2時
会場 母校一商 一階音楽室

五、東京校歌祭振興会実行委員
幹事 山本 剛(41期)
委員 菊池 敏郎(32期) 一商代表
松森世津子(41期) 総合同会
芥川 英子(41期) 来賓受付
倉見 義弘(42期) 会場係



第4回一商同窓会ゴルフコンペ開催

恒例になりました同窓会のゴルフコンペが、昨年も埼玉県の「こだまゴルフクラブ」で11月11日(火)に行われました。天候は曇りで、風もなく暑くもなく寒くもなく、正に絶好のゴルフ日和となりました。事前の参加申し込みは57名でしたが、当日は50名の方が参加され、各組同期生を中心に和やかに、しかし、優勝を目指して内なる闘志を燃やして元気よくスタートして行きました。

各期別の参加者は、
30期2名、32期6名、34期4名、35期5名、
36期2名、38期10名、39期2名、40期5名、
41期7名、43期4名、配偶者3名の以上
50名です。

今回は、41期の方が多く参加され、結果的にも成績に表れていました。表彰及び懇親会は、この大会の運営委員長である30期の小林さんの挨拶、乾杯の音頭で始まりました。

しばらく歓談した後、いよいよ表彰です。

優勝は、41期の内田征剛さんがアウト43、イン47、ネット73。2で見事優勝、準優勝も41期の上鈴木通善さんがアウト43、イン45、ネット73。6で入賞しました。そして、女子の部は、大野津波子さん(38期大野進さんの奥様)がイン47、アウト47、ネット76で優勝し、併せて女子の部のベストスコアも獲得しました。男子の部のベストスコアは、前回に引き続き38期の梅原隆志さんがアウト38、イン48のグロス86で獲得しました。今年は多く



の人に賞品が行き渡るよう「飛賞」を多く作りましたが、大変好評でした。又、多くの人から次回も是非参加したいとの声も有り、次回に対する期待感も高かったように思います。そして、過去四回を通して「少しずつ世代交代をしているのかな」というのを感じました。次回以降は、44期以降の方に対しても、参加を呼びかけていきたいと思えます。尚、今回も36期の豊田芳弘さんから自社で作られている「万華鏡」を、38期の大野進さんからは自社で扱っている「安納こがねいも」と「トマトジュース」を寄贈して頂きました。ご協力ありがとうございました。
世話人 鈴木 勇(38期)

新企画ぶらりウォーキング実施報告

一商同窓会 はちやま

3月28日(土)

今回のテーマ

懐かしの通学路と開校時懐旧
目黒川の花見

新企画 ぶらりウォーキング が安全に楽しく行われました。

この企画は同窓会初の企画でしたが、50代から80代の同窓生の参加者を得て、賑々しく行われました。感謝申し上げます。

当日は参加者の日頃の行いを反映して絶妙な日和で、懐旧の母校を訪ね、お花見シーズンとお不動尊の日でしたが、混雑のなか三々五々楽しく歩きました。

参加者名

- 清水官祐 (23期)、家田和利 (23期)
- 永井和雄 (23期)、配島一郎 (23期)
- 青木生夫 (29期)、岩田總男 (29期)
- 海口頼久 (29期)、大庭保夫 (29期)
- 長坂専司 (29期)、上島幸平 (29期)
- 大槻 實 (30期)、小林三郎 (30期)
- 熊井加代子 (31期)、鈴木 信 (31期)
- 菊池敏郎 (32期)、鈴木利之 (32期)
- 吉田清一 (32期)、芝山展昌 (33期)
- 濱田玖美子 (33期)、曾根清次 (34期)
- 長崎仁一 (34期)、梶浦征治 (36期)
- 石田謙司 (37期)、大森東亜 (37期)
- 山本 剛 (41期)、山本恵津子 (41期)
- 芥川英子 (41期)、市毛桂子 (41期)
- 澤野與志子 (43期)、岩佐芳一 (45期)
- 藤曲真美 (45期)、中林雅一 (46期)
- 山崎松夫 (46期)、本田妙子 (55期)
- 出井慶子 (55期)

ぶらりウォーキングの主なコース写真

母校での
全員写真



目黒川の桜



旧朝倉家住宅
(重要文化財)



開校時東京府議会議長で、開校に尽力頂きました

西郷山公園
でのスナップ

西郷隆盛の舎弟従道が保有した土地を従道の息子が一商に土地を融通。公園から目黒川の懸崖で景色が良好



●一商同窓会の活動は皆様の年会費と賛助会費で運営されております。

● 都立一商同窓会 <http://www.isshou.jp/>

第2回ホームカミングデー

第2回ホームカミングデーが昨年11月22日に開催されました。ホームカミングデーとは卒業生が母校に集まり、母校愛と同窓生同士の友情を確認し合う集いです。昨年のホームカミングデーの日に、行事にご参加頂いた後に、別会場で独自で45期の皆さんが同期会を開催されました。今回その様子を記事にして頂きご提供頂きました。以下に掲載させて頂いた活用された良い例だと思えます。同期会、クラス会を御検討中の幹事様、良き参考例としてお読み下されば幸いです。



なお、本年のホームカミングデーは11月21日(土)午後一時より母校で開催を予定しております。詳しくは次号でご案内申し上げます。同窓生の皆様の多数のご参加をお待ち申し上げます。

ホームカミングデーと同期会

浅野 勝美(45期)

1、ホームカミングデー

(1) 一商入学後半世紀が過ぎ、我が期も皆高齢者の末席に連なり、これを記念してメインゲストに選ばれたのでしようか。その理由は分かりませんが、我が期(45期)がメインゲストだということなので、11月22日(イイ夫婦の日)、この日は3連休の初日でしたが、一商同窓会(鉢山会)が主催するホームカミングデーに出席して参りました。昨年が第1回目だったので、広報不足ということ、今回が実質上の第1回目のようなものでした。

(2) 式次第に先立ち、生徒の案内で校内見学会があり、コンピュータ室、商業実践室、体育館等を見学しました。要所で案内する生徒の態度は良く、挨拶もきちんと出来ていました。室内及び廊下にはゴミ一つなく綺麗に清掃されていました。一商の伝統はいまだ健在のようです。私は21年前の新校舎落成のときに招待され、校舎全体を見学しました。そのときも感じたのですが、建物全体が周囲のオシャレな環境にマッチし、まるでホテルのようです。建物は地下1階、地上4階建てで、トイレは出入口にアーチがあり、地下階の明り取りとして廊下の一部に中庭があ

ります。体育館は3階と2階の計2箇所あり、プールは屋上にあります。エレベーターも付いております。校庭は弥生時代の遺跡が出たとかで一時使用中止になっていましたが、今は使用しているようです。

(3) 41期の松森世津子副会長の司会で式が進行し、32期の菊池敏郎会長の挨拶、相田誠一副校長の挨拶の後、37期夏井靖則氏の講演会となりました。同氏は早大法学部卒業後、株式会社オリエンタルランドで取締役をされた方で、「デイズニリーゾト夢の王国―デイズニリー・テマパークの夢と魔法への挑戦―」と題し、1時間足らずの短い時間の中で、デイズニリー・テマパークの成功要因等について興味深いお話をされました。印象深かったのは、悪いアイデアは存在しないこと、非日常の世界に徹底してこだわること、お客様の期待に応えるのではなく、期待以上のサービスを提供することが入場者数、売上高、利益を伸ばす要因だと話されたことです。最近はともすればコスト合戦になりがちですが、高品質を維持して売上、業績を伸ばすために、業種を問わず、大いに参考になるのではないかと存じます。夏井先輩ありがとうございました。

●一商同窓会の活動は皆様の年会費と賛助会費で運営されております。

● 都立一商同窓会 <http://www.issou.jp/> 検索

残念だったのは、スピーカがハウリングを起こし、内容がかなり聞き取り難かったことです。また参加人数が50名程度と少なかったことです(せめて100名程度はほしかったとの声がありました)。

(4) 次いで、アトラクションとして在校生によるブレイクダンス、軽音楽、吹奏楽と続いた後、37期石田謙司副会長のもと校歌斉唱をし、39期中澤捷雄副会長の閉会の辞にて、ホームカミングデー終了となりました。

2、同期会

(1) ホームカミングデー終了後、45同期会を学校の近くにあるNECの大橋会館で行いました。この同期会は、我が師鷹齋正二先生が教頭、校長になった記念式典(昭和60年、平成元年)を淵源とし、4年前の2010年7月10日に渋谷・東武ホテルで行った還暦同期会の続きとして行いました。前回は71名が参加し、来賓として「お化け」こと恩師三崎隆先生及び大槻實同窓会々長(鉢山経済クラブ会長)の出席を得て盛大に行ないました。今回は、実行委員としてホームカミングデーの運営に携わってきた岩佐芳一君の提案により、また前回連絡が来なかったとか次回是非行きたいとか、の要望が多数ありましたので、ホームカミングデーのテコ入れも兼ねてホームカミングデー終了後に続けて開催しました。幹事団は前回と略同一のメンバーとし

ました。この種の同期会は私設の組織であり、同窓会組織のように公認のものではないので、人的、金銭的、組織的な種々の制約があります。しかし幹事の皆様のお陰で、精々30名も参加すれば御の字と思っていたところ、予想を遙かに上回る37名(同伴1名を含む)の多数の参加を頂きました。とくに広島や日光と遠方からの参加を頂いたことは主催者として大いに面目を施しました。ありがとうございます。

(2) 定刻の午後3時30分に筆者の挨拶及び乾杯発声の後、旧交を暖めるべく歓談が始まりました。会場の大橋会館は、さすがに一流会社の施設だけあって、立地、食事、サービスともに良く、年齢に配慮して魚系の料理が多かったのには感謝しました。これもNECに定年まで勤務し今回の会場手配をしてくれた野村寛子さんのお陰です。

さて腹も出来た頃の4時過ぎから、近況報告をして頂きました。人数が増えたためクラス毎に各10分程度割り当てて行ないました。成功した人、病気をした人、悩みのある人、50年も経つと人生色々、男も女も色々在ることが分かります。しかし、皆さんいづれも楽しそうに喋るのです。飲み、喰い、喋ると、ストレスの発散になっているのかもかもしれませんが、旧友との一刻は一服の清涼剤になっているのではう。

途中シャンソン歌手となったと称する西野博和氏の歌も出て、和やかな内にあつという間の2時間が経過しまし

た。掲載の写真は高城雅史君の撮影で佐藤謙君が処理したものです。なお、東武ホテルからの会場変更であったため、田中誠司君が間違えた方のために暫く同ホテルで立ちんぼをしていただくことを感謝して記します。

皆様ありがとうございました。うございました。

3、最後に

最近学力低下が言われて久しく、中でも商業学校の人気がなくなりましたが、在校生のしつげがきちんとしているのを見て休心しました。

ホームカミングデーは各大学でも試行しているのですが、参加人数を増やすには、アトラクションよりも人間即ち昔の仲間への声掛けのようです。その意味で、ホームカミングデーと同期会、クラス会

をドッキングさせ、同日に開催するのは両者にとってメリットがあると存じます。今回の我が同期会に関しても、通信面で同窓会の配慮を頂きました。同窓会の皆様ありがとうございました。



出席者 ●伊藤、鵜沢、西野、早川(勝)、早川(守)、矢城(石川)、上田(大河内)、千葉(小椋)、粕谷、鎌田、川名、関根、橋岡(竹内)、藤田(中島)、湯沢、荒川、下村(榎本)、狩野、小林、本田(品田)、前田、長谷(片山)、小林(川内)、山口、大竹(岩田)、市川(三上)、岡部(遠藤)、穂坂(高坂)、太田、石坂、佐藤、浅野、岩佐、野村、田中、高城

●一商同窓会の活動は皆様の年会費と賛助会費で運営されております。

● [都立一商同窓会](http://www.issou.jp/) <http://www.issou.jp/>

平成27年度事業計画と日程(案)

平成27年7月4日(土) 総会呈示

Table with columns: 期日, 時間, 行事, 開催場所他. Rows include dates from 3月26日 to 4月7日, listing various events like 都立一商入学式, 会報編集会議, and 同窓会連絡協議会.

一商同窓会 平成27年度役員候補

平成27年7月4日(土) 総会提示 ※総会選任

Table with columns: 役職, 委員会等, 氏名, 期. Lists candidates for various roles including 監事, 常任理事, 副会長, 顧問, and 相談役.

奨学会理事・監事と100周年準備委員

平成27年7月4日(土) 総会報告

平成26年10月25日(土)の常任理事会において今後の学校と関連する役員が、下記のとおり承認されました事を報告いたします。

記

(1) 一商奨学会(同窓会側)

理事 長尾 正喜(30期1953年卒)

藤田 靖(30期1953年卒)

菊池 敏郎(32期1955年卒)

中沢 捷雄(39期1962年卒)

山口 善久(39期1962年卒)

監事 小林 三郎(30期1953年卒)

粕谷 幸男(45期1968年卒)

(2) 母校創立100周年準備委員(同窓会側)

長尾 正喜(30期1953年卒)

藤田 靖(30期1953年卒)

菊池 敏郎(32期1955年卒)

石田 謙司(37期1960年卒)

大森 東亜(37期1960年卒)

中沢 捷雄(39期1962年卒)

山本 剛(41期1964年卒)

芥川 英子(41期1964年卒)

佐藤 房子(42期1965年卒)

太田 守洋(47期1970年卒)

●一商同窓会の活動は皆様の年会費と賛助会費で運営されております。

● 都立一商同窓会 http://www.issou.jp/ 検索



奨学生だより

拝啓 春色の候、同窓会の皆様におかれましては、ますますご壮健のこととお喜び申し上げます。

私はこの四月から、中央大学商学部商業・貿易学科に進学いたします。大きな期待を持ち、充実した学生生活を送りたいと思います。高校在学中は経済的、精神的に同窓会の方々にお世話になりました。私の場合は特に、一商奨学生として奨学金の給付を受け、経済的に支えていただきました。感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございます。合格することが出来ました。その結果、今回の進学が達成できたのだと思っています。同窓会の方々の期待に応えられるよう、これからも精一杯努力をしていきます。

私は高校在学中、軽音楽部での活動と勉学の両立を目標として取り組んできました。両立させることはとても難しく、途中で何度も投げだしたいと思う時がありました。

しかし、立ち止まることはありませんでしたが、前に向かって進むことが出来ました。その原動力は何だったのだろうかと考えると、やはり、部活の仲間やクラスの友人、先生方や同窓会の皆様がいてくれたからだと思います。私を支えてくれる周りの方々の思いを感じることができたからだと思います。前に向かって取り組むことができたことにより、部活動では全国大会に出場し入賞することもできました。私を支えてくれた方々から勇気もらい、精神的にも成長できたのかなと思っています。本当にありがとうございます。

末筆ではございますが、同窓会のみな様へのご発展をお祈りし、今後もご指導くださいますようお願い申し上げます。

平成二十七年三月二十七日

中央大学進学 N. M生

一商同窓会
会長 菊池敏郎様

拝啓 春寒次第に緩み、一雨ごとに春の息吹が立ち込めてまいりました。同窓会のみな様お変わりございませんか。

さて、私はこの四月から国学院大学経済学部経済ネットワーキング学科に進学します。大学では何事にも積極的に関わり、充実した生活にしたいと思っています。

不安もありますが大学生活に対する期待は大きいです。同窓会のみな様には、高校在学中奨学金をいただきまして、とても感謝しています。お陰様で簿記をはじめ多くの資格を取得することができました。資格を取得するための勉強はとても大変だったのですが、諦めず努力を継続することの大切さを知ることが出来ました。中学生の時の私は、自分に自信がなく前向きに取り組むことが少なかったと思います。

しかし、第一商業で学ぶことにより、少しですが自分に自信が持てるようになれました。

第一商業での学生生活は、私にとってとても大切なものです。ソフトテニス部や風紀委員会での活動で得た責任感や友情、そして多くの方々に見守られているという安心感、これが私の成長を支えているのだと思います。本当に同窓会のみな様、先生方、第一商業に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。

末筆ではございますが、同窓会のみな様へのご発展をお祈りし、今後もご指導くださいますようお願い申し上げます。

平成二十七年三月二十八日

国学院大学進学 I. E生

一商同窓会
会長 菊池敏郎様

拝啓 早春の候、同窓会の皆様におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、私はこの三月に都立第一商業高等学校を卒業いたしました。卒業後は専修大学商学部会計学科に入学することになっています。高校在学中は一商奨学生として奨学金を給付していただき、本当にありがとうございます。いただいた奨学金は資格取得のための検定料や参考書の購入などに使わせていただきました。

高校生活の三年間はとても充実していました。勉強や生徒会活動を通じて人として大きく成長できたのではないかと思います。そう思うことができているのは、先生方や友人として同窓会の皆様の支えがあったからだと思います。本当に感謝しています。

大学では幅広い教養と会計の知識を深め、将来は税理士の職に就き社会貢献ができる人間になりたいと思っています。

末筆ではございますが、一商同窓会のみな様へのご発展をお祈りし、今後もご指導くださいますようお願い申し上げます。

平成二十七年三月三十日

専修大学進学 N. N生

一商同窓会
会長 菊池敏郎様



平成26年度 都立一商同窓会 会計報告(案)

● 収支計算書 (平成26年4月1日～平成27年3月31日) (単位:円)

| 収入の部 | 予算額 | 決算額 | 差異(予算-決算) |
|-----------|------------|------------|-----------|
| 終身会費 | 1,000,000 | 940,000 | 60,000 |
| 年会費 | 2,000,000 | 1,762,000 | 238,000 |
| 賛助会費 | 5,000,000 | 4,290,200 | 709,800 |
| 同窓生の集い収入 | 330,000 | 476,500 | △146,500 |
| 事務受託収入 | 360,000 | 360,000 | 0 |
| 広告料収入 | 150,000 | 156,000 | △6,000 |
| 受取利息 | 60,000 | 52,811 | 7,189 |
| 当年収入合計(A) | 8,900,000 | 8,037,511 | 862,489 |
| 前年度繰越収支差額 | 4,788,589 | 4,788,589 | 0 |
| 収入合計(B) | 13,688,589 | 12,826,100 | 862,489 |

| 支出の部 | 予算額 | 決算額 | 差異(予算-決算) |
|------------------|-----------|------------|-----------|
| 会報製作費 | 1,000,000 | 1,392,552 | △392,552 |
| 会報発送費 | 1,000,000 | 1,209,972 | △209,972 |
| 総会・集い費 | 600,000 | 675,662 | △75,662 |
| クラブ助成費 | 260,000 | 183,778 | 76,222 |
| 諸行事協賛金 | 120,000 | 20,000 | 100,000 |
| 慶弔費 | 50,000 | 49,836 | 164 |
| 家賃 | 1,800,000 | 1,948,765 | △148,765 |
| 水道光熱費 | 150,000 | 76,678 | 73,322 |
| 事務費 | 1,200,000 | 1,128,505 | 71,495 |
| 交通費 | 340,000 | 205,156 | 134,844 |
| 会議費 | 160,000 | 346,504 | △186,504 |
| 通信費 | 550,000 | 226,305 | 323,695 |
| 消耗品費 | 300,000 | 451,426 | △151,426 |
| 振込手数料 | 120,000 | 98,390 | 21,610 |
| 雑費 | 250,000 | 577,353 | △327,353 |
| 生徒募集費支援 | 300,000 | 174,960 | 125,040 |
| 就職対策費支援 | 80,000 | 74,736 | 5,264 |
| 部活動奨励費 | 300,000 | 390,960 | △90,960 |
| 資格取得奨励費 | 200,000 | 170,326 | 29,674 |
| 履災地交流費 | 120,000 | 0 | 120,000 |
| 当年度支出合計(C) | 8,900,000 | 9,401,864 | △501,864 |
| 当年度収支差額(A)-(C) | 0 | △1,364,353 | 1,364,353 |
| 次年度繰越収支差額(B)-(C) | 4,788,589 | 3,424,236 | 1,364,353 |

● 貸借対照表 (平成27年3月31日現在) (単位:円)

| 科目 | 金額 | |
|---------------------------|------------|------------|
| I 資産の部 | | |
| 現預金 | | |
| 現金 | 264,979 | |
| 普通預金(三菱東京UFJ銀行渋谷支店) | 1,064,410 | |
| 振替貯金 664890 | 100,182 | |
| 振替貯金 386424 | 500 | |
| 振替貯金 695492 | 500 | |
| 定期預金(三菱東京UFJ銀行渋谷支店) | 6,073,896 | |
| 定期預金(ゆうちょ銀行) | 3,000,000 | 10,504,467 |
| 基金引当資産 | | |
| 周年行事積立預金(ゆうちょ銀行) | 1,500,000 | |
| 普通預金(三菱UFJ信託銀行渋谷支店) | 5,610,295 | 7,110,295 |
| 流動資産 | | |
| ※10年国債償還と国債利息、4月に10年国債に振替 | | |
| 100周年募金会費用立替分 | | |
| 立替金 | 103,600 | |
| 差入保証金 | 828,000 | 931,600 |
| 資産合計 | | 18,546,362 |
| II 負債 | | |
| 未払金 | 30,794 | |
| 預り金 | 8,203 | |
| 前受金 | 150,600 | |
| 次年度以降年会費 | 57,600 | |
| 次年度分賛助会費 | 30,000 | |
| 51号広告料 | 18,000 | |
| 事務所使用料 | 45,000 | 189,597 |
| III 正味財産の部 | | |
| 1 基金 | | |
| 前年度繰越額 | | |
| 当年度増加額 | 13,432,529 | 13,432,529 |
| 2 周年行事積立金 | 1,500,000 | 1,500,000 |
| 3 次年度繰越金 | | |
| 前年度繰越額 | 4,788,589 | |
| 当年度増加額 | △1,364,353 | 3,424,236 |
| 正味財産合計 | | 18,546,362 |

平成26年度 都立一商奨学会 会計報告

● 収支計算書 (平成26年4月1日～平成27年3月31日) (単位:円)

| 収入の部 | 予算額 | 決算額 | 差引 |
|------------|------------|------------|---------|
| 当年度収入合計(A) | 2,244,700 | 2,234,643 | △10,057 |
| 前年度繰越収支差額 | 14,113,846 | 14,113,846 | 0 |
| 収入合計(B) | 16,358,546 | 16,348,489 | △10,057 |

| 支出の部 | 予算額 | 決算額 | 差引 |
|---------------|------------|------------|----------|
| 奨学金 | 2,160,000 | 1,680,000 | 480,000 |
| 奨学金振込手数料等 | 63,000 | 50,147 | 12,853 |
| 会議費 | 10,000 | 0 | 10,000 |
| 交通費 | 20,000 | 22,000 | △2,000 |
| 雑費 | 0 | 8,000 | △8,000 |
| 当年度支出合計(C) | 2,253,000 | 1,760,147 | 492,853 |
| 当年度収支差額(A-C) | -8,300 | 474,496 | △502,910 |
| 年度繰越収支差額(B-C) | 14,105,546 | 14,588,342 | △482,796 |

● 貸借対照表 (平成27年3月31日現在) (単位:円)

| 科目 | 金額 | |
|--------------|------------|-------------|
| I 資産の部 | | |
| 預金 | | |
| 普通預金(りそな・渋谷) | | 4,593,382 |
| 定期預金(りそな・渋谷) | | 10,000,000 |
| 基金引当資産 | | |
| 30年国債(大和証券) | | 140,000,000 |
| 資産合計 | | 154,593,382 |
| II 負債の部 | | 5,040 |
| III 正味財産の部 | | |
| 1 基金 | | 140,000,000 |
| 2 次年度繰越金 | | |
| 前年度繰越額 | 14,113,846 | |
| 当年度増加額 | 474,496 | 14,588,342 |
| 正味財産合計 | | 154,593,382 |

● 一商同窓会の活動は皆様の年会費と賛助会費で運営されております。

● [都立一商同窓会](http://www.issou.jp/) <http://www.issou.jp/>

平成27年度 都立一商同窓会 収支予算(案)

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(単位：円)

| 収入の部 | 予算額 |
|-------------------|------------|
| 先 払 年 会 費 | 2,400,000 |
| 年 会 費 | 2,000,000 |
| 賛 助 会 費 | 4,000,000 |
| 同 窓 生 の 集 い 収 入 | 500,000 |
| 事 務 受 託 収 入 | 360,000 |
| 事 務 所 使 用 料 収 入 | 540,000 |
| 広 告 料 収 入 | 190,000 |
| 受 取 利 息 | 60,000 |
| 当 年 度 収 入 合 計 (A) | 10,050,000 |
| 前 年 度 繰 越 収 支 差 額 | 3,424,236 |
| 収 入 合 計 (B) | 13,474,236 |

| 支出の部 | 予算額 |
|-----------------------------|----------------|
| 会 報 製 作 費 | 1,600,000 |
| 会 報 発 送 費 | 1,200,000 |
| 総 会 ・ 集 い 費 | 800,000 |
| ク ラ ブ 助 成 費 | 150,000 |
| 諸 行 事 協 賛 金 | 40,000 |
| 慶 弔 費 | 60,000 |
| 家 賃 | 1,950,000 |
| 水 道 光 熱 費 | 100,000 |
| 事 務 費 | 1,200,000 |
| 交 通 費 | 300,000 |
| 会 議 費 | 400,000 |
| 通 信 費 | 200,000 |
| 消 耗 品 費 | 680,000 |
| 振 込 手 数 料 | 120,000 |
| 雑 費 | 240,000 |
| 生 徒 募 集 費 支 援 | 200,000 |
| 就 職 対 策 費 支 援 | 80,000 |
| 部 活 動 奨 励 費 | 500,000 |
| 資 格 取 得 奨 励 費 | 220,000 |
| 当 年 度 支 出 合 計 (C) | 10,040,000 |
| 当 年 度 収 支 差 額 (A) - (C) | 10,000 |
| 次 年 度 繰 越 収 支 差 額 (B) - (C) | 3,434,236 |
| 100周年行事積立金 | 26年分含む 600,000 |

監査報告書

都立第一商業高等学校同窓会の平成26年度(平成26年4月1日～平成27年3月31日)の収支計算書及び同年度末の貸借対照表は、監査の結果、適正かつ妥当に作成されているものと認めます。

平成27年5月13日

都立第一商業高等学校同窓会

監 事 小 林 三 郎 (30期)

監 事 柏 谷 幸 男 (45期)

監 事 鶴 澤 正 二 (45期)

平成27年度 都立一商奨学会 収支予算

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(単位：円)

| 収入の部 | 予算額 |
|-------------------|------------|
| 受 取 利 息 (国債) 注) | 2,231,180 |
| 受 取 利 息 (定期) | 2,500 |
| 受 取 利 息 (普通) | 700 |
| 当 年 度 収 入 合 計 (A) | 2,234,380 |
| 前 年 度 繰 越 収 支 差 額 | 14,588,342 |
| 収 入 合 計 (B) | 16,822,722 |

| 支出の部 | 予算額 |
|-------------------------|------------|
| 奨 学 金 | 2,160,000 |
| 奨 学 金 振 込 み 等 手 数 料 | 63,000 |
| 会 議 費 | 10,000 |
| 交 通 費 | 20,000 |
| 当 年 度 支 出 合 計 (C) | 2,253,000 |
| 当 年 度 収 支 差 額 (A - C) | △18,620 |
| 年 度 繰 越 収 支 差 額 (B - C) | 14,569,722 |

注) 140,000,000×0.02÷2=1,400,000 (利率2.0%)

所得税額210,000及び地方税額70,000を引いた額1,120,000が受取額となる。(6・12月)

平成25年1月1日より復興所得税(3.063%)を減額される。

監査報告書

都立一商奨学会の平成26年度(平成26年4月1日～平成27年3月31日)の収支計算書及び同年度末の貸借対照表は、監査の結果、適正かつ妥当に作成されているものと認めます。

平成27年5月13日

都立第一商業高等学校同窓会

同 窓 会 監 事 小 林 三 郎 柏 谷 幸 男

鶴 澤 正 二

PTA会計監査 久 田 照 子 渡 邊 和 子

都立一商奨学会について

「田園家塾」の処分が基となり、平成元年より同窓会、PTA、学校の三者により基金1億3千万円の運用で毎年奨学金を支給しており、平成26年度は27名に学費援助を行いました。

●一商同窓会の活動は皆様の年会費と賛助会費で運営されております。

● 都立一商同窓会 <http://www.issou.jp/>

| | | | | | | | | |
|--------|--------------|---------|--------------|--------|--------------|--------|--------------|--------|
| 15,000 | | 10,000 | | 40,000 | | 7,600 | | 5,000 |
| 2,000 | | 20,000 | | 10,200 | | 7,600 | | 5,000 |
| 10,000 | | 5,000 | | 20,000 | | 10,000 | | 10,000 |
| 10,000 | 【35期】 | | | 10,000 | | 10,000 | 【45期】 | |
| 10,000 | | 10,000 | 【37期】 | | | 30,000 | | 10,000 |
| 20,000 | | 3,000 | | 2,600 | | 5,000 | | 10,000 |
| 7,600 | | 5,000 | | 2,600 | | 7,600 | | 2,500 |
| 20,000 | | 20,000 | | 10,000 | | 10,000 | | 5,000 |
| 7,600 | | 200,000 | | 12,600 | | 10,000 | | 7,600 |
| 10,000 | | 10,000 | | 3,000 | | 10,000 | 【46期】 | |
| 20,000 | | 7,600 | | 7,600 | | 3,000 | | 10,000 |
| 10,000 | | 10,000 | | 5,000 | | 10,000 | | 10,000 |
| 20,000 | | 10,000 | | 7,600 | | 2,600 | | 10,000 |
| 10,000 | | 10,000 | | 5,000 | | 20,000 | | 9,600 |
| 30,000 | | 10,000 | | 10,000 | | 7,600 | | 7,600 |
| 600 | | 20,000 | | 7,600 | 【41期】 | | | 10,000 |
| 10,000 | | 5,000 | | 5,000 | | 10,000 | | 5,000 |
| 10,000 | | 12,600 | | 7,600 | | 10,000 | | 5,000 |
| 10,000 | 【33期】 | 7,600 | 【38期】 | 10,000 | | 20,000 | | 10,000 |
| 10,000 | | 20,000 | | 10,000 | | 10,000 | 【47期】 | |
| 7,600 | | 7,600 | | 20,000 | | 10,000 | | 10,000 |
| 2,500 | | 10,000 | | 5,000 | | 20,000 | | 10,000 |
| 5,000 | | 2,400 | | 3,600 | | 7,600 | | 20,000 |
| 10,000 | | 10,000 | | 7,600 | | 5,000 | | 10,000 |
| 10,000 | | 10,000 | | 5,000 | | 10,000 | | 5,000 |
| 5,000 | | 5,000 | | 7,600 | | 2,600 | 【49期】 | |
| 10,000 | | 10,000 | | 20,000 | | 10,000 | | 10,000 |
| 10,000 | | 10,000 | | 10,000 | | 10,000 | | 10,000 |
| 10,000 | | 5,000 | | 10,000 | 【42期】 | | | 3,000 |
| 2,600 | | 10,000 | | 7,600 | | 5,000 | | 10,000 |
| 7,600 | | 17,600 | | 2,600 | | 30,000 | 【50期】 | |
| 10,000 | | 10,000 | | 2,600 | | 5,000 | | 7,600 |
| 20,000 | | 20,000 | | 7,600 | | 7,000 | | 5,000 |
| 10,000 | | 7,600 | 【39期】 | | | 2,600 | | 10,000 |
| 10,000 | | 10,000 | | 10,000 | | 2,600 | 【52期】 | |
| 10,000 | | 5,000 | | 10,000 | 【43期】 | | | 10,000 |
| 10,000 | | 20,000 | | 10,000 | | 5,000 | 【55期】 | |
| 30,000 | 【34期】 | 10,000 | | 10,000 | | 4,800 | 【57期】 | 5,000 |
| 10,000 | | 30,000 | | 10,000 | | 20,000 | | |
| 10,000 | | 10,000 | | 7,600 | | 10,000 | 【63期】 | 10,000 |
| 10,000 | | 10,000 | | 10,000 | | 7,600 | | |
| 10,000 | | 7,600 | | 10,000 | | 10,000 | | 8,500 |
| 10,000 | | 5,000 | | 10,000 | | 10,000 | 【66期】 | 8,500 |
| 5,000 | | 10,000 | | 10,000 | | 10,000 | | |
| 10,000 | | 20,000 | | 5,000 | | 5,000 | | 10,000 |
| 15,200 | | 10,000 | | 10,000 | | 7,600 | 【69期】 | |
| 7,600 | | 20,000 | | 10,000 | | 10,000 | | 2,600 |
| 10,000 | | 10,000 | | 10,000 | | 10,000 | 【79期】 | |
| 10,000 | | 20,000 | | 10,000 | | 3,000 | 【81期】 | 17,600 |
| 10,000 | 【36期】 | | | 3,000 | 【44期】 | | | |
| 10,000 | | 10,000 | | 2,600 | | 5,200 | 【82期】 | 7,600 |
| 10,000 | | 10,000 | | 60,000 | | 10,000 | | |
| 10,000 | | 5,000 | 【40期】 | | | 10,000 | | 2,600 |
| 7,600 | | 10,000 | | 10,000 | | 10,000 | | |
| 5,000 | | 10,000 | | 7,600 | | 10,000 | | 10,000 |

個人情報保護のためWeb上では納付者氏名は掲載
 しません。お手元の会報をご覧ください。

平成26年度賛助会費および年会費報告

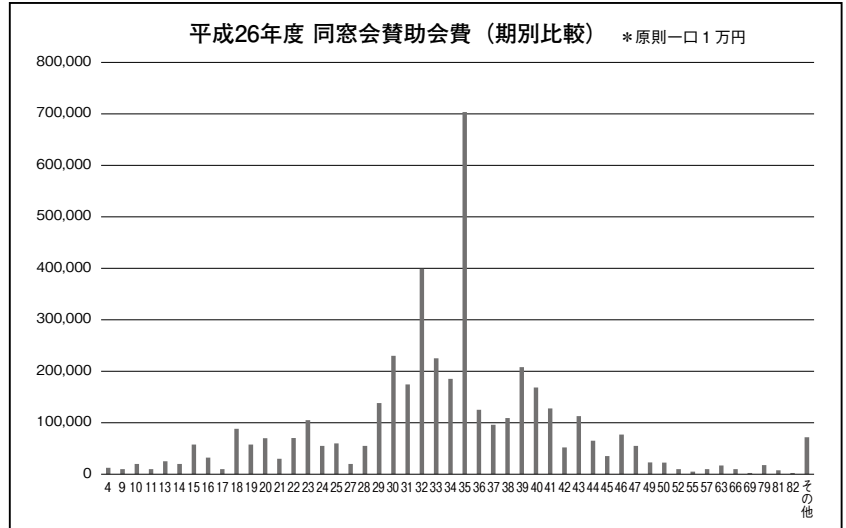
平成27年
3月末日現在

本同窓会の運営は基本的には毎年の卒業生から納入される終身会費（一人5000円平成26年度で終了）総額100万円弱をもって資金とし活動するものです。

それに加えて、平成5年創立75周年より、同窓生のみなさんに、歴史ある母校の同窓会が名実ともに会としての運営ができるような財源確保の制度として、一口1万円の賛助会費をお願いしております。制度発足以来、毎年同窓生のみなさんに絶大なご援助を頂き、おかげさまで別掲のとおり本年は4,296,200円と、合わせて平成25年度よりスタートした年会費(一口2400円)1,762,000円のご協力を皆様から頂くことが出来ましたことを合わせて報告させていただきます。

この大切な資金は有効に使用すべく役員一同努力いたします。

今後とも同窓会員の皆様に絶大なるご協力を賜りますようお願い申し上げます。



●賛助会費納入状況

| | | | | | | | |
|-------|--------|-------|--------|--------|--------|-------|--------|
| 【4期】 | | 【19期】 | 25,200 | 10,000 | 10,000 | 【31期】 | |
| 【9期】 | 12,600 | | | 10,000 | 20,000 | | 10,000 |
| | | | 10,000 | 10,000 | 10,000 | | 10,000 |
| 【10期】 | 10,000 | | 27,600 | 10,000 | 10,000 | | 2,000 |
| | | | 10,000 | 10,000 | 7,600 | | 10,000 |
| | 10,000 | | 10,000 | 10,000 | 5,000 | | 5,000 |
| 【11期】 | 10,000 | | 2,400 | 7,600 | 2,600 | | 10,000 |
| | | 【20期】 | | 【24期】 | 20,000 | | 20,000 |
| | 10,000 | | 10,000 | 5,000 | 10,000 | | 2,600 |
| 【13期】 | | | 10,000 | 10,000 | 10,000 | | 10,000 |
| | 10,000 | | 10,000 | 10,000 | 【30期】 | | 10,000 |
| 【14期】 | 15,000 | | 10,000 | 20,000 | 10,000 | | 20,000 |
| | 10,000 | | 10,000 | 10,000 | 10,000 | | 20,000 |
| | 10,000 | | 10,000 | 10,000 | 10,000 | | 10,000 |
| | 10,000 | | 10,000 | 10,000 | 10,000 | | 20,000 |
| 【15期】 | | 【21期】 | | 20,000 | 10,000 | | 10,000 |
| | 20,000 | | 10,000 | 20,000 | 10,000 | | 10,000 |
| | 10,000 | 【22期】 | 20,000 | 10,000 | 10,000 | 【32期】 | |
| | 20,000 | | | 10,000 | 10,000 | | 5,000 |
| | 7,600 | | 10,000 | 【27期】 | 10,000 | | 30,000 |
| 【16期】 | | | 10,000 | 【28期】 | 10,000 | | 20,000 |
| | 2,400 | | 2,600 | | 2,600 | | 10,000 |
| 【17期】 | 30,000 | | 10,000 | | 10,000 | | 10,000 |
| | | | 10,000 | | 5,000 | | 10,000 |
| | 10,000 | | 7,600 | | 10,000 | | 10,000 |
| 【18期】 | | | 20,000 | | 10,000 | | 2,600 |
| | 12,000 | 【23期】 | | 【29期】 | 20,000 | | 5,000 |
| | 20,000 | | 22,000 | | 12,400 | | 10,000 |
| | 12,000 | | 7,600 | | 10,000 | | 10,000 |
| | 4,000 | | 10,000 | | 10,000 | | 2,600 |
| | 10,000 | | 10,000 | | 10,000 | | 15,000 |
| | 5,000 | | 10,000 | | 3,000 | | 20,000 |
| | | | | | 5,000 | | |

個人情報保護のためWeb上では納付者氏名は掲載
しません。お手元の会報をご覧ください。

●一商同窓会の活動は皆様の年会費と賛助会費で運営されております。

● 都立一商同窓会 <http://www.isshou.jp/>

| | | | | | | |
|--|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | | | | 【43期】 | |
| | | | 【39期】 | | | 【47期】 |
| 【35期】 | | | | | | |
| | 【36期】 | | | | | 【49期】 |
| | | | | 【41期】 | 【44期】 | |
| | | | | | | 【50期】 |
| <p style="color: red;">個人情報保護のためWeb上では納付者氏名は掲載 しません。お手元の会報をご覧ください。</p> | | | | | | |
| | | | | | | 【52期】 |
| | | | | | | 【54期】 |
| | | 【38期】 | | | | 【55期】 |
| | | | | | | 【60期】 |
| | | | | | 【45期】 | 【62期】 |
| | | | 【40期】 | | | 【63期】 |
| | | | | | | 【66期】 |
| | | | | | | 【69期】 |
| | 【37期】 | | | 【42期】 | | 【75期】 |
| | | | | | 【46期】 | 【79期】 |
| | | | | | | 【81期】 |
| | | | | | | 【82期】 |

●年会費納入状況

平成26年度 年会費納入状況

| 期 | 合計金額 | 期 | 合計金額 |
|----|---------|----|-----------|
| 4 | 4,800 | 37 | 120,000 |
| 11 | 2,400 | 38 | 69,600 |
| 13 | 9,600 | 39 | 91,200 |
| 14 | 4,800 | 40 | 84,000 |
| 15 | 19,600 | 41 | 72,000 |
| 16 | 4,800 | 42 | 24,000 |
| 17 | 7,200 | 43 | 43,200 |
| 18 | 21,600 | 44 | 43,200 |
| 19 | 21,600 | 45 | 21,600 |
| 20 | 26,400 | 46 | 31,200 |
| 21 | 2,400 | 47 | 31,200 |
| 22 | 24,000 | 49 | 9,600 |
| 23 | 43,200 | 50 | 9,600 |
| 24 | 16,800 | 52 | 4,800 |
| 25 | 16,800 | 54 | 7,200 |
| 27 | 2,400 | 55 | 4,800 |
| 28 | 19,200 | 60 | 2,400 |
| 29 | 50,400 | 62 | 2,400 |
| 30 | 88,800 | 63 | 2,400 |
| 31 | 64,800 | 66 | 2,400 |
| 32 | 168,000 | 69 | 2,400 |
| 33 | 96,000 | 75 | 2,400 |
| 34 | 96,000 | 79 | 2,400 |
| 35 | 170,400 | 81 | 2,400 |
| 36 | 91,200 | 82 | 4,800 |
| | | 総計 | 1,764,400 |

個人情報保護のためWeb上では納付者氏名は掲載
しません。お手元の会報をご覧ください。



平成26年度 100周年記念募金 入金報告



| | | | | | |
|-------|---------|---------|-------|---------|--------|
| 【4期】 | | 50,000 | 【35期】 | 10,000 | 10,000 |
| 【13期】 | 5,000 | 10,000 | | | 3,000 |
| | | 50,000 | | 50,000 | 【40期】 |
| 【14期】 | 10,000 | 2,500 | | 50,000 | 10,000 |
| | | 50,000 | | 10,000 | 10,000 |
| 【15期】 | 10,000 | 10,000 | | 10,000 | 10,000 |
| | | 20,000 | | 3,000 | 3,000 |
| 【16期】 | 100,000 | 10,000 | | 10,000 | 2,000 |
| | | 【31期】 | | 5,000 | 5,000 |
| 【19期】 | 10,000 | 5,000 | | 10,000 | 【41期】 |
| | | 【32期】 | | 10,000 | 5,000 |
| | 30,000 | | | 10,000 | 10,000 |
| | 15,000 | 2,000 | | 10,000 | 10,000 |
| 【20期】 | | 10,000 | | 10,000 | 10,000 |
| 【22期】 | 50,000 | 100,000 | | 7,600 | 5,000 |
| | | 100,000 | | 10,000 | 【42期】 |
| | 10,000 | 200,000 | 【36期】 | | 5,000 |
| | 5,000 | 100,000 | | 10,000 | 5,000 |
| | 10,000 | 10,000 | | 3,000 | 【43期】 |
| 【23期】 | | 5,000 | | 10,000 | 【46期】 |
| | 50,000 | 5,000 | | 10,000 | 40,000 |
| 【24期】 | 10,000 | 10,000 | | 100,000 | 50,000 |
| | | 【33期】 | | 5,000 | 【47期】 |
| | 10,000 | | | 10,000 | 50,000 |
| 【25期】 | | 10,000 | 【37期】 | | |
| 【28期】 | 10,000 | 10,000 | | 10,000 | 【49期】 |
| | | 2,000 | | 3,000 | 30,000 |
| | | 10,000 | | 50,000 | 【54期】 |
| | 10,000 | 【34期】 | | 5,000 | 10,000 |
| 【29期】 | 10,000 | 10,000 | 【38期】 | | 5,000 |
| | | 5,000 | | 50,000 | 【その他】 |
| | 5,000 | 50,000 | | 50,000 | 51,000 |
| | 10,000 | 5,000 | | 100,000 | 50,000 |
| | 50,000 | 5,000 | | 10,000 | 50,000 |
| | 10,000 | 3,000 | 【39期】 | | 50,240 |
| 【30期】 | 10,000 | 10,000 | | 500,000 | 50,000 |
| | | 5,000 | | 10,000 | |

個人情報保護のためWeb上では納付者氏名は掲載
 しません。お手元の会報をご覧ください

27年3月31日現在 収入合計 3,045,340円

65歳以上の皆さまに、お得なパーティープラン

悠々プラン

期間
2016年
3月31日
まで

土・日・祝日昼間 お1人様 8,500円

平日昼間 お1人様 6,500円

ご利用時間 9時から17時までの3時間

ご利用時間 平日9時から17時までの3時間

料理 洋食コース(8名様より)

料理 洋食コース(8名様より)

または
和食会席(40名様まで)

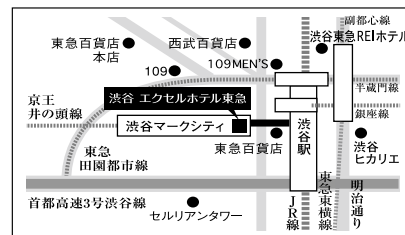
または
和食松花堂弁当(8名様より)

または
和洋buffet(20名様より)

飲み物 フリードリンク4種

飲み物 フリードリンク6種

※表記の料金にはサービス料・消費税が含まれております。
 ※お問合せは 宴会予約 03-5457-0134 (直通)



■JR(山手線・埼京線・湘南新宿ライン)
 東京メトロ(銀座線・半蔵門線・副都心線)
 京王井の頭線・東急(東横線・田園都市線)「渋谷駅」直結

EXCEL HOTEL TOKYU 渋谷 エクセルホテル東急
 〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-12-2(渋谷マークシティ内)
 Tel: 03-5457-0109 Fax: 03-5457-0309
 www.shibuya-e.tokyuhotels.co.jp

●一商同窓会の活動は皆様の年会費と賛助会費で運営されております。

● [都立一商同窓会](http://www.isshou.jp/) <http://www.isshou.jp/>

〈鉢山俳句会〉

鉢山俳句会は平成24年6月に発足し、定例会句会(奇数月第1月曜日に同窓会事務所で開催)と吟行(年1回戸外での俳句作り)が主な活動内容となっております。

定例会句会では、各自が兼題(予め決めた季題)で2句、自由題で1句の計3句を提出し選句と選評を和やかな雰囲気の中で行っていきます。

吟行については、これまでに神田界隈、本郷界隈、清澄庭園へ出かけ、5月には新宿御苑で実施することになっています。

俳句は一人でも楽しめますが、仲間とお互いの句を選んだり、批評し合うことによって一層楽しみが増え、上達につながるものと考えます。

現在、会員は8名と少人数ですので、もう少し仲間を増やし更に充実した句会にしたいと望んでおります。俳句に興味をお持ちの方は、是非当会を覗いてみて下さい。見学も大歓迎です。直近の活動実績と当面の予定は、次のとおりです。

3月2日(月) 午後同窓会事務所にて句会
5月8日(金) 新宿御苑へ吟行

7月6日(月) 午後同窓会事務所にて句会
なお、お問合せ、ご連絡は次の世話人へお願いします。

飯泉善一郎(31期) NHK学園俳句友の会会員
世田谷区玉川2-7-1
電話・FAX 03-3707-5586

(ご参考) 本年3月の句会に提出された句を教句披露いたします。

- 分け入りて昼の灯か藪椿
- 太平山お手玉うたの雪ふかし
- 薄水や思ひの揺らぐ午後なりし
- 薄水や踏み壊し行く登校児
- 犬ふぐり咲く一面の野原あり
- ふるふきや言葉運びし老二人 (5月1日記)

鉢山クラブ通信

〈はちやま川柳会〉

毎月第1火曜日に開催されていた「はちやま川柳会」(代表世話人・高橋慎三さん・28期)が本年5月2日日出たく100回目を迎え、100回記念川柳会がクラブ事務所にて開催されました。題は、この日にちなんで「百」。入選作は次のとおりです。

千鳥 昼のバス百パーセントシニアバス

写坊主 百八の煩惱抱え今日もまた

おそ松 百均がわが家の家計支えてる

三助 百葉に勝れる葉爛の酒

幸風 百均で部屋整える新家庭

雅柳 百葉の長は川柳なりと知り

井亭 あなた百私しや九十九これからね

千鳥 トップ賞とうとうなくて百回目

千鳥 百回を数えていたとはさすがドン

葉研 お百度は一步一步が身を清め

おそ松 酒飲みの言い訳百葉の長だもん

鉢っ子 這ってでも百周年を祝いたい

雅柳 夢でない時代となりぬ百才も

雅柳 百年の恋も冷めきる同窓会

三斗 八百を超えるウソを聞魔知る

雅柳 百度も三斗をめぐり花開く

いわG 百度で更に飛躍を目指す人

幸風 続けましょ皆で百まで川柳を

三助 へそ曲げりや百鬼も恐れる山の神

鉢っ子 その事は百も承知と云う大臣

井亭 百日紅袴も咲きたい夏いっぱい

三助 千鳥足悪酔いのんべ百足足

参加者(敬称略)・高橋慎三(28期)、佐藤恒夫

(23期)、垂井道夫(28期)、大槻實(30期)、齋

藤順子(31期)、大久保良子(32期)、鈴木利



之(32期)、秋元春義(35期)、白川健二(35期)、平松巖(35期)、大橋佳夫(35期)、石田謙司(37期)、山崎松夫(46期)、中林雅一(46期)以上14名
尚、世話人代表の高橋さんは今回をもって勇退されます。長い間ありがとうございました。

〈歌謡教室〉

参加者募集

歌は健康の素、元気の源です。
楽しく明るく皆で歌いましょう♪



平成20年からスタートしている教室で現在7名在籍しています。あと少し人数を増やしたいのでご興味のある方は非ご参加ください!

講師のキーボードあり、カラオケ設備あり、順番で各人のリクエスト曲を全員で練習します。

講師 深井カヨ子先生 ビクター歌謡音楽研究会認定講師、東京講師会副会長、日本作詞家協会会員

受講料 4000円チケット制 (講師プロフィール必要な方はお申し出ください)

開催日 毎月第4土曜日 午後1時半から3時15分(変更の場合あり) 事前に3回分のチケット(4か月有効)を購入してください。

場所 同窓会事務所 見学体験自由です。

(お問合せ) 一商同窓会事務所 担当 菊池

電話 03-6455-3731
FAX 03-6455-3723

同窓会会則改正案

〈第3号議案〉

東京都立第一商業高等学校同窓会会則改正案承認の件

議案の趣旨

現行の会則は、一つの役職に係わる事項が複数の条項に分散されていたり、一つの条文に複数の役職に関する内容が含まれています。更に役割や任務をより明確にする必要のある役職があります。また、条文が、一商同窓会独自の表現になっていて、規程に関する一般的表現に馴染まないため、改めたほうが良い部分があります。そこで、全体を見直し改正する事といたします。

主な改正点は

- ①一つの条項に複数の異なる事項が含まれている条文は、事の性質毎の条文に整理する。
- ②監事の任務が、「会計監査」に限定され「監事」の名称に馴染まないため、一般的な監事の職務である「会務の執行状況の監査」を加え、現行の「会計監査」は「財産の状況監査」に改める。
- ③事務局の役職の定義を、実態に即した内容に改める。
- ④親睦委員会の任務として規定されている「東京校歌祭への参加」は、親睦委員会主催の行事に馴染まないため削除する。
- ⑤条文の項・号等を一般的な表示に修正する。
- ⑥その他細部の箇所について、「てにをは」を含め可能な限り一般的規程の表現に準じた内容・表現に改める。

等々です。詳細は、添付改正案の通り取り纏めましたので、総会にて提示します。

尚、現行の会則に添付されている同窓会組織図は、会則添付書類として定められていないので、はずすこととする。又理事会、事務局の位置づけ表現について、会則の条文を含め抜本的見直しの必要があるとの意見があるので、時間をかけて検討・審議し、次回改正する。

改正

第1条 (名称)

本会は、東京都立第一商業高等学校同窓会(以下本会)と称し、愛称を一商鉢山会とする。

第2条 (事務所)

本会は、事務所を東京都内に置く。

現行

第1条 (名称)

本会は東京都立第一商業高等学校同窓会(愛称は「一商鉢山会」とする

第2条 (事務所)

1. 本会は事務所を東京都内に置く

改正

- 2 支部は、総会の決議を得て、任意の地に置くことができる。
- 3 事務所使用に際しては、別に定める本会事務所使用規則を遵守すること。

第3条 (目的)

- 1 本会は、会員相互の親睦を図り、母校の隆盛を期することを目的とする。
- 2 前項の目的を達成するため各号に掲げる事業を行う。

一 会報の発行

二 親睦活動の推進

三 母校の教育に対する支援

四 母校の歴史資料の収集及び保存

五 その他必要な事業

第4条 (会員)

本会の会員は、一般会員及び特別会員とする。

- 2 一般会員は、東京都立第一商業学校・東京都立第一商業学校・東京都立第一商業新制高等学校・東京都立第一商業高等学校の卒業生とし、特別会員は、母校現職教員及び前教職員とする。
- 3 母校を中途退学した生徒で会員が推薦し常任理事会が承認した者は一般会員に加えることができる。

第5条 (役員)

- 一 会長 1名
- 二 副会長 若干名

現行

- 2. 支部は総会の議決を得て、必要な地に置くことができる

↑(新設)

第3条 (目的)

- 1. 本会は、会員相互の親睦を図り、母校の隆盛を期することを目的とする
- 2. 前項の目的を達成するため次の事業を行う

① 一 会報の発行

② 二 親睦活動の推進

③ 三 母校の教育活動への支援

④ 四 母校の歴史資料の収集、保存

⑤ 五 その他必要な事業

第4条 (会員)

1. 本会の会員は通常会員と特別会員の2種とする

- 2. 通常会員は東京都立第一商業学校・東京都立第一商業学校・東京都立第一商業新制高等学校・東京都立第一商業高等学校の卒業生とし、特別会員は母校現職教職員及び旧教職員とする。
- 3. 母校を中途退学した者のうち、会員が推薦し常任理事会で承認した者を通常会員に加える

第5条 (役員)

- ① 会長 1名
- ② 副会長 若干名

●一商同窓会の活動は皆様の年会費と賛助会費で運営されております。

● 都立一商同窓会 <http://www.issou.jp/>

改正

現行

改正

現行

- 三 常任理事 若干名
- 四 理事 (卒業年度毎の期別代表として) 若干名
- 五 監事 (卒業年度毎のクラス代表として) 3名
- 六 他に名誉会長1名及び顧問並びに相談役若干名を会長が委嘱することが出来る。
- 七 現職の校長及び副校長を特別顧問に、前職の校長を名誉顧問とすることが出来る。

↑(16条関連)

- 1 会長及び監事は、総会で選出する。
- 2 副会長及び常任理事並びに理事は、会長が委嘱する。
- 3 常任理事は、卒業年度毎の期別代表として同期の理事と連携を図る。
- 4 理事は、卒業年度毎のクラス代表としてクラス員相互の連携を図る。

第6条 (役員任期)

役員任期は、選出が承認された定期総会以後翌々年の定期総会終了までの2年間とする。

- 1 但し、再任を妨げない。
- 2 会長は、3選を上限とする。
- 3 補欠の役員任期は、前任者の残任期間とする。
- 4 任期の満了または辞任によって退任する役員は、後任の役員が就任するまでの間、引き続きその会務を行う。

第7条 (会長)

会長は、本会を代表し会務を統括する他、各号に掲げる会務を遂行する。一 会則もしくは常任理事会の決議

- ③ 常任理事 若干名
- ④ 理事 卒業年度毎に若干名
- ⑤ 監事 3名
- ⑥ 他に名誉会長1名、顧問、相談役各若干名を会長が委嘱すること出来る

第6条 (役員任期)

役員は次の方法により選出する

- ① 会長及び監事は総会に於いて選出する
- ② 理事は卒業行年度毎に会長が委嘱し、総会に報告する
- ③ 副会長、常任理事は会長が委嘱する
- ④ 役員任期は2年とし、再任を妨げない

第7条 (役員任期)

1. 会長、本会を代表し会務を統括すると同時に、副会長の担当委員会を決定する

- により、本会の会務として定められた事項
- 二 常任理事会の承認を得て、事務局を採用し、または解雇すること
- 2 副会長が担当する委員会を決定すること
- 3 会長に事故ある時の会務を代理する順位を決めておくこと。
- 4 会長は、定期総会に於いて、前年度に於ける会務の執行に関する報告をしなければならない。

第8条 (副会長)

副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その会務を代理し、会長が欠けたときはその会務を執行する。

- 2 会務を代理または執行するとき
- 3 別々に定める会務執行委員会委員長を兼務する。

第9条 (監事)

監事は、本会の会務の執行及び財産の状況を監査しその結果を総会に報告しなければならない。

↑(新設・7条関連)

↑(新設・7条関連)

- 2. 副会長の任務は次の通りとする
- ① 副会長は会長を補佐し、会長に事故ある時はあらかじめ会長の定めた順序により会長の職務を代行する
- ② 第11条に定める事務局或は第12条で定める委員会を担当する
- 3. 常任理事及び理事は、それぞれの常任理事会、理事会において、所定の職務を行う
- 4. 監事の任務は次の通りとする
- ① 監事は本会の会計を監査し、定時総会においてその結果を報告する
- ② 常任理事会、理事会、他の委員会において意見を述べることが出来る
- 5. 名誉会長、顧問及び相談役は、重要な会務について、会長の諮問に応じる

改正

2 監事は、常任理事会及び理事会並びに会務執行委員会に出席して意見を述べることができる。

第10条 (名誉会長・顧問・相談役)

名誉会長及び顧問並びに相談役は、重要事項について会長の諮問を受け答申するものとする。

第11条 (総会)

総会は、本会の最高意思決定機関とし、定期総会及び臨時総会とする。

2 会長は、定期総会を、毎年1回新会計年度開始以後3か月以内に招集しなければならない。

3 会長は、必要と認める場合には、いつでも臨時総会を招集することができる。

4 総会の議長は、会長が務める。

5 各号に定める事項については、総会の決議事項とする。

一 会長及び監事の選任
二 収支決算と事業報告及び収支予算案と事業計画案
三 会則の改正
四 その他本会の重要事項

6 総会の議事は、出席会員の過半数で決し、可否同数の場合には、議長の決するところによる。

7 会則の改正に関する議事は出席会員の3分の2以上で決する。

第12条 (常任理事会)

常任理事会は、会長及び副会長並びに常任理事で構成する。

2 常任理事会は、総会が招集される前に会長から報告を受けた重要事項

現行

↑(新設・7条関連)

第8条 (総会)

1. 本会の総会は決議すべき事項についての最高機関であり、毎年1回定期総会を開くものとし必要に応じて臨時総会を開くことができる

2. 総会は会長が招集し、その議長となる

3. 総会は次の事項を審議する
① 会長、監事の選任
② 事業計画、事業報告、予算及び決算の承認
③ 会則の改正
④ その他本会の重要事項

4. 理事選任の報告

5. 総会の議事は出席会員の過半数によつて決する 但し、第3項第3号については第17条の通りとする

↑(新設・8条関連)

第9条 (常任理事会)

1. 常任理事会は、会長、副会長及び常任理事をもつて構成する

2. 常任理事会は、総会前に本会の重要事項について会長より報告を受

改正

について審議する。

3 会長は、必要に応じていつでも常任理事会を招集し、その議長となる。

第13条 (理事会)

理事会は、会長及び副会長並びに理事で構成する。

2 会長は、必要に応じていつでも理事会を招集し、その議長となる。

第14条 (事務局)

本会の会務を円滑に推進するため事務局を置く。

2 事務局には、事務局長1名及び事務局次長を置く。

3 事務局長は副会長の中から、事務局次長は常任理事の中から会長が委嘱する。

4 事務局は、会の運営に関わる調整業務及び会長から指示された事務を行うものとする。

第15条 (会務執行委員会)

会務を推進するため、次に掲げる委員会を置く。

- 一 総務委員会
イ 会則改正の原案作成
ロ 各委員会に対する支援
ハ 会員名簿の管理
二 財務委員会
イ 収支予算案作成及び収支決算報告書案作成

現行

け、協議し承認する

第10条 (理事会)

理事会は、会長、副会長及び理事をもつて構成する

2. 理事は、各期クラスの代表として、同窓会とクラス員との相互の連絡を十分にとること

3. 会長は、必要に応じていつでも理事会を招集しその議長となる

第11条 (事務局)

本会の会務事務を統括するため事務局を設置する

1. 事務局には事務局長1名と事務局次長及び事務職員若干名を置くものとする

2. 事務局長は副会長の中から、事務局次長は常任理事の中から会長が委嘱する

3. 事務局は、会の運営にかかる会務事務(会計・庶務等)を主管するとともに必要に応じ、各会議の事務を補完・支援する

第12条 (会務執行委員会)

1. 会務執行にあたり、次の委員会を設置する

- ① 総務委員会
イ. 事務局及び各委員会の支援と会則改正の原案作成
ロ. 名簿管理とその維持
② 財務委員会
イ. 予算案作成と決算の報告
ロ. 年会費・賛助会費等の受入金

改正

- ロ 年会費及び賛助会費等の収納並びに保有財産運用の企画立案
- 三 広報委員会
- イ 会報及びホームページの編集と作成
- ロ 会報の発送
- 四 親睦委員会
- 同窓生の親睦を図る事業の企画立案と執行(削除・外部の行事のため)
- 五 歴史資料委員会
- 母校の歴史資料の収集と保存
- 六 記念誌編集委員会
- 母校が発行する周年記念誌発行に対する協力
- 七 企画委員会
- 上記各号委員会に属さない会務に関する企画立案とその執行
- 2 各委員会の副委員長及び委員は、常任理事、理事及び理事を中心に同窓生の中から委員長が推薦し会長が委嘱する。
- 3 各委員会が連携し会務を執行するため、合同正副委員長会議を任期中各年度毎に年2回、また臨時正副委員長会議を必要に応じて会長又は委員長が招集し、会長又は委員長が議長となる。
- 4 各委員の任期は、2年とし再任を妨げない。
- 5 会長は、必要に応じて委員会の新設及び統廃合を行うことができる。

第16条 (会計)

本会の会計年度は、毎年4月1日か

現行

- と保有資産運用の企画立案
- ③ 広報委員会
- 同窓会会報及びホームページの編集と作成、会報の発送
- ④ 親睦委員会
- イ 同窓生の親睦を図る事業の企画立案と執行
- ロ 東京校歌祭への参加
- ⑤ 歴史資料委員会
- 母校の歴史資料の収集と保存
- ⑥ 記念誌編集委員会
- 母校が発行する周年記念誌発行に対する協力をする
- ⑦ 企画委員会
- 同窓会の会務執行に関する事項で①～⑥の委員会に属さない事業の企画立案と執行
- 2. 各委員会の委員長は会長の委嘱により副会長が担当し、各委員会の副委員長及び委員は常任理事、理事を中心に広く同窓生の中から委員長が推して会長の承認を得る。なお、各委員会は協力体制を作るため、合同正副委員長会議を設置し、定例正副委員長会は必要に応じ、必要な当該委員長が招集、開催する
- 3. 各委員の任期は2年とし、再任を妨げない
- 4. 会長は必要に応じて委員会の新設及び統廃合を行うことが出来る

第13条 (会計)

本会の会計年度は 毎年4月1日か

改正

- ら翌年3月31日までとする。
- 2 本会の経費は、別に定める会費その他のから支弁する。
- 3 第7条に定める事務員の報酬を支払うことができる。
- 4 年会費及び賛助会費並びに寄付金以外の収入は賛助会費に繰り入れるものとする。
- 5 本会の会計事務は、会長が統括し事務員が補佐する。

第17条 (会費その他)

本会の会費は、以下の各号に定める。

- 一 年会費 2,400円
- 二 先払い年会費 12,000円
- 2 先払い年会費は、同窓会年会費半額の10年分の12,000円とし、入学時に同窓会入会同意書を入手した後徴収する。
- 3 賛助会費
- 会員から賛助会費として指定された受入れ分及び特に指定がなく1.項の年会費以外の年度受け入れ分は、賛助会費の収入とし広く会員よりの納入を奨励する。
- 4 寄付金
- 会員及びその他の者からの寄付金も受け取ることができる。

現行

- ら翌年3月31日までとする
- ↑(新設・15条関連)
- ↑(新設・15条関連)
- ↑(新設)

第14条 (会費その他)

本会の会費は下記の通りとする

- 1. 年会費 2,400円
- 2. 終身会費 5,000円
- 平成27年3月の卒業生を以てこれを廃止する
- 3. 先払い年会費(年会費の半額の10年分) 12,000円
- 平成25年4月入学の者が卒業する平成28年3月より、同窓会入会と先払い年会費の支払につき同意書を提出することによって実施する
- 4. 賛助会費
- 会費から賛助会費として指定された受入れ分及び特に指定がなく1.項の年会費、5項の寄付金以外の年度受け入れ分は賛助会費の収入とし、広く会員よりの納入を奨励する
- 5. 寄付金
- 会員及びその他の者からも受け取ることができる

(削除し16条へ) ↓

第15条 (経費)

- 1. 本会の経費は、第14条に規定する会費その他の収入をもって支弁する

●一商同窓会の活動は皆様の年会費と賛助会費で運営されております。

● 都立一商同窓会 <http://www.isshou.jp/> 検索

改正

第18条(会則の改正)

この会則の改正は、総会において、出席会員の3分の2以上の議決を得て改正することができる。

附則

- 1 平成11年10月22日改正の会則は、平成11年10月22日から効力を発する。
- 2 平成13年6月19日改正の会則は、平成13年6月19日から効力を発する。
- 3 平成24年6月2日改正の会則は、平成24年6月2日から効力を発する。
- 4 平成25年6月23日改正の会則は、平成25年6月23日から効力を発する。
- 5 第14条1項2号(終身会費5,000円)は平成これを削除する。
↑(新設)
- 6 平成27年 月 日改正の会則は、平成27年7月4日から効力を発する。
↑(新設)

現行

2. 本会の会務事務を執行するために置く事務職員には経費の一環として報酬を支払うことが出来る

第16条(特別顧問及び名誉顧問)
在職校長及び副校長は特別顧問とし、前校長は名誉顧問とする

伝・言・板

寄贈本()内は寄贈者・敬称略

- 15期生かく戦えり (菅野今朝吉 15期)
- 洪沢栄一他(40冊) (大野 進 38期)
- ニューギニア戦歌集 (内貫直次 16期)
- ピクチャーウィークリー(愛甲 汎 25期)
- 中央線電車運行記録 (上原庸行 19期)
- 一商学報27・31号 (布施孝盛 24期)
- 金井校長書軸他7冊(佐久間圭作 18期)
- 音標文学の解説 (丹沢栄一 37期)

原稿募集

母校創立百周年にふさわしい内容の原稿を募集しています。

今までの周年募金事業で、職場の一商会(一銀会等)やサークルのOB会(一柔会等)に多大なご協力をいただきました。百周年事業募金にもご協力を賜わりたく、名簿等お持ちの方がいらっしゃいましたら、同窓会事務局まで、ご一報下さい。

同窓会誌はちやまの感想文をお寄せ下さい。

求人 事務職(女子)

週2〜3日出勤(月、水、金希望)
11時〜3時 日給 1000円
交通費 実費支給
*パソコン堪能な方 7月より
ご連絡は右記時間内で
03-6455-3731 一商同窓会

訃報



恩師 米林 稔先生(商業科、柔道部顧問、昭和29年1月8日、ご逝去されました。(享年86歳)葬儀には

同窓会より生花が献花、一商会より弔電が寄せられ、石田副会長はじめ、多くの教え子が参列しました。謹んで哀悼の意を表します。

- 45期(昭和43年卒)これまでの物故者
- A組 坂井八郎・山下義文(H24)
 - B組 志村光比古
 - C組 佐久間清二・茂木 久(H25)
 - E組 高畑(原田)典子(H16)
 - G組 割田克美(S45)、植田 安(H2)、木賀沢秀明(H10)、今吉孝一(H20)、鳥海薫平(H23)、奥原哲夫(H25)
 - H組 小池 務 合掌
- *ほかに)存じでしたら、ご連絡ください。

一商同窓会会報 企業広告のお願い

サイズ: 名刺広告 左右30mm×天地 56mm ¥ 3,000
 モノクロ(1/8)左右 88mm×天地 56mm ¥10,000
 (1/4)左右180mm×天地 56mm ¥18,000
 (1/2)左右180mm×天地120mm ¥35,000
 原稿: 完全原稿をお願いします。
 送り先: 同窓会事務局
 〒150-0036 東京都渋谷区南平台町2-6
 電話: 03-6455-3731 南平台ヒルス501号
 Fax: 03-6455-3723 E-mail: info@isshou.jp
 お支払: 後日請求書を送らせていただきます。

●一商同窓会の活動は皆様の年会費と賛助会費で運営されております。

● 都立一商同窓会 <http://www.isshou.jp/> 検索

我が社を語る(第一回)

世界の国々に日本の庭文化を広める

小杉造園株式会社代表取締役 小杉 左岐 (42期)

「一商」の大先輩、菊池敏郎様のご来社にまず驚いた。わざわざお越しいただき、感謝申し上げます。卒業して50年。高校時代はやんちゃで、お世話になっていながらご無沙汰していました。

私は現在、植木屋の3代目として、社員80名と共に頑張っています。日本の庭文化を世界に、と、世界各地の大学で講演したり、大学生を日本に招待したりして、日本ファンを作っています。また、世界の人たちと出会い、違う文化を学び、日本へと持ち帰って紹介もしています。その一例を紹介します。

今年(2015年)の2月、中東のバーレーン王国でのお話をしましょう。暑いイメージのある中東ですが、2月の気温は日中25度ぐらいで、比較的小さな季節です。首都マナーマから車で約20分のアルアリーン地区にある「アルアリーン・ワイルドライフ・パーク」(野生動物植物公園)

に日本庭園を造りました。動物植物公園に日本庭園という取り合わせです。ファミリーで来ると子供たちが必ず日本庭園で遊ぶ仕組みを作りました。広い池を飛び石づたいに渡れるので、水面上を歩く気分を味わえます。

作業準備から約50日、ついに完成の日が来ました。2月18日午後4時、王室のサビーク王妃のご来臨(写真)をいただき、国営企業のGPIC社のジャワヘリ社長の進行で開園式典が華やかに行われました。

アルアリーンパークは動植物の種の



保護に力を入れています。園長のマダニ博士は「当園は砂漠地帯にあるから、特に種の保全が必要だ」と話されました。砂漠の中の動植物の生態を見守っているのです。また、子供たちにとっては教育の場、若い人たちにはレクリエーションの場として利用されています。パーク内では専用車に乗って動物たちを見るようになっていきます。

日本庭園の入り口には庭園全体の案内板があり、面積は四平方メートルという大きな敷地です。設計では砂漠の中での植物選びに苦労しました。

バーレーンでは、5月の終わりから6月初めの1週間には、気温が50度を超える日があると聞いて、その過酷な環境への対応に追われました。また、「日本庭園にヤシを？」と思いましたが、遠景に利用したら結構馴染んでいたのにも驚きました。

他には、キョウチクトウの赤や白、黄色の花と、マサキの斑入りが黄金の色に見えて、とても身近に感じました。この暑い国ではヤシの木々がほとんどですが、赤花のブーゲンビリア、ハイビスカス等が色を添え、利用価値がありました。一年中花を咲かせ、日本人として身近に感じ、多用しました。

この庭園では、砂漠の国なのに水をふんだんに使いました。5メートル高の滝を造り、バーレーンの岩山の泉から湧水がこぼれる様子表現しました。滝から流れ出た水は遣り水となり、小川から大きな川へと下り、大海へ注ぐまでの風景をデザインしました。

この庭を通して、バーレーン王国と日本の友好の絆がより強くなることを願って作庭いたしました。



編集室から

同窓会誌はその同窓会の顔である。スッピン(官報)でも厚化粧(週刊誌)でもない。分厚いと誰も読まない。とにかく同窓会誌ほど編集がややこしいものはないだろう。その編集を菊池会長から仰せつかった。母校は昭和40年代後半(1965)から女子生徒数が半数を超え、女子高のようになった。それを嘆く同輩もいるが、考えようでは、優秀な女子生徒がそれだけ多く入学したとも言える。その中で吉田さんは代表格といえよう。これからも彼女のような、社会的に大活躍する女性が母校から続々輩出するような予感がする。三好さんの文章は、以前、鉢山クラブの会誌に4回にわたり連載されたものを著者の了解を得て読み切りとして転載した。海口さんのものも、前回と今回、同誌に掲載されたものを転載した。小杉さんは、母校創立以来の伝統でもある「グローバルな社会人」そのものである。つい最近、岸田外相がキューバを訪れ、キューバ革命の父・カストロ前国家評議会議長と会見したが、小杉さんはそのずっと以前にカストロさんと会っている。これは日本政府のメンツに関わることで今までオフレコだった。民間人外交の勝利である。(⊕)生

- 編集委員(敬称略)
- 委員長 石田 謙司 (37期)
 - 副委員長 大森 東亜 (37期)
 - 副委員長 大橋 佳夫 (35期)
 - 委員 海口 頼久 (29期)
 - 大槻 實 (30期)
 - 井上 七郎 (39期)
 - 千木良克伸 (41期)
 - 岩佐 芳一 (45期)
 - 犬飼 正行 (46期)
 - 山崎 松夫 (46期)
 - 小林 雅一 (46期)
 - 安藤 幸子 (46期)



編集委員のメンバー

●一商同窓会の活動は皆様の年会費と賛助会費で運営されております。

● 都立一商同窓会 <http://www.issou.jp/>

平成27年度イベント案内

- 7月 4日(土) 13:00 総会 於 渋谷エクセルホテル東急
- 11月 3日(火) 13:00 東京校歌祭 於 杉並公会堂
- 11月11日(水) 8:30 ゴルフコンペ 於 こだまゴルフクラブ
- 11月21日(土) 13:00 ホームカミングデー 於 都立一商
- 28年3月26日(土) 10:00 ぶらりウォーキング (お花見会)

本年度同窓会の主なイベントの日程をご案内申し上げます。皆様ふるってご参加下さいます様お願い申し上げます。



東京校歌祭



ホームカミングデー



ぶらりウォーキング (お花見会)

東京都立第一商業高等学校同窓会 (一商鉢山会)

平成27年定期総会のご案内

日時 平成27年7月4日(土) 午後1時～3時

会場 渋谷エクセルホテル東急 6階
(渋谷区道玄坂1-12-2 TEL: 03-5457-0109)

議事

- 第1号議案 『平成26年度事業報告並びに収支決算報告と監査報告』 承認の件
- 第2号議案 『平成27年度事業計画並びに収支予算案』 承認の件
- 第3号議案 『東京都立第一商業高等学校同窓会会則修正案』 承認の件
- 第4号議案 『新役員 (平成27、28年度) 選任』 承認の件

総会報告事項

1. 新執行部の体制について
2. 一生奨学会の理事、監事 (同窓会側) 及び100周年準備委員 (同窓会側) の報告
3. 100周年募金会会計報告

懇親会 午後3時20分～ 総会と同会場

会費

- 6,000円 87期まで
- 2,000円 88～91期まで

無料招待 92期

※会費は当日会場でお支払い下さい

ご参加の方は会場の都合もありますので必ず参加申込書を**6月25日**必着にてご返信下さい。

今年は一商軽音楽部の生徒さんの参加等が予定されています。

はちやま 第五十一号

平成二十七年六月一日発行

編集 同窓会広報委員会

発行者 同窓会会長 菊池 敏郎

都立一商同窓会 〒150-0036 東京都渋谷区南平台町二一六

南平台ヒルス五〇一号

TEL 〇三―六四五五―三七三一

FAX 〇三―六四五五―三七二三

ホームページ <http://www.isshou.jp/>

E-mail: info@isshou.jp

印刷所 (株)博文堂

●一商同窓会の活動は皆様の年会費と賛助会費で運営されております。

● **都立一商同窓会** <http://www.isshou.jp/>